

# 令和5年度事業報告書



「やさしさ」を抱きしめよう

社会福祉法人西予市社会福祉協議会



# 令和5年度 西予市社会福祉協議会 事業報告

## I 総括

少子高齢化や核家族化の進行、人間関係の希薄化及び、新型コロナウイルス感染症の影響による生活様式や働き方の変化等に伴って地域社会は大きく変容するとともに、社会的孤立の問題、経済的困窮や低所得の問題、権利擁護の問題など、地域における生活課題は深刻化しています。

また、地域においては、人と人とのつながりが大切にされ、誰もが安心して暮らしていける支え合いのまちづくりのための、きめ細やかな福祉が強く求められています。

このような社会情勢の中、西予市社会福祉協議会では『みんながささえあいぐらして安心が体感できるまちづくり』の基本理念のもと、地域福祉を推進する中核的な団体として、直面する生活課題に対応し、誰もが住み慣れた家庭や地域で自分らしく暮らしていくことができるよう、令和5年度においても新型コロナウイルス感染状況等を適宜とらえながら、事業の周知や進め方に工夫を重ね、民生委員・児童委員、ボランティア、住民組織及び、関係機関等と一体となり事業を展開してまいりました。

特に、新たにスタートした、地域づくり活動センターとの連携については、各支所の福祉活動専門員が訪問を重ね、情報の共有を図り、関係を築くことができたことから、今後はそれぞれの地域の生活課題・福祉課題の発掘・解決に向けて取り組んでいきたいと考えております。

また、延期していた「経営改善計画」の策定については、令和4年度において大幅な赤字決算となり、今後もこの傾向が続くこと、法人全体の事業経営が大変厳しくなることが予想されることから、主には次の世代を担う職員を中心に、7名の策定委員を選出し、継続可能な組織体制、人口の動向、介護報酬の見込み、人件費等の推移を協議・検討し「第2次経営改善計画」を策定いたしました。

その主な内容については、組織体制を平成29年度から導入していた課制を廃止し、各支所において地域住民のあらゆる生活課題等を組織として受け止め、対応する体制とすることで、各部門間の相互連携を確立し、より一層地域福祉の推進を図っていくこととしております。

一方、厳しい経営状況が続いている介護サービス事業においては、ケアマネの事業でタブレットを導入し事務の効率化を図ることで2名の人件費を削減し、また、訪問介護事業では、野村本所の事業所を宇和支所と統合することにより、ヘルパーの確保が大変厳しい中、安定したサービスが提供できる体制の整備を図りました。

なお、令和6年度においては「経営改善推進委員会」を設置し、現在、調査・検討課題としていることについての協議を進めるとともに、進捗状況の評価を行い、安定した経営基盤の確立及び、介護サービスが継続できる体制の整備に努めて参ります。

## II 基本目標

- i ささえあう意識づくり
- ii つながり・ささえあう地域づくり
- iii 福祉サービスの充実と包括的な相談体制づくり
- iv 安全・安心のまちづくり
- v 信頼される社会福祉協議会づくり
- vi 地域包括的支援事業の推進

## III 事業の実施状況

### 【1】ささえあう意識づくり

#### 1 広報活動の充実強化

##### (1) 西予市社協広報誌「おあしす」の発行

社協だより「おあしす」を発行し、広く市民に社会福祉協議会活動の周知を図った。(発行回数5回)

##### (2) ホームページ、SNSを活用した情報の発信

社協のホームページを活用し、現況報告書・計算関係書類等の公表及び、社協・地域包括支援センターの活動内容、共同募金事業等について常に情報を発信した。

また、「フェイスブック」を活用し、リアルタイムでの情報発信に努めた。

##### (3) 地域における広報・啓発活動

ふれあい・いきいきサロン、地域づくり組織の会、民協定例会等、職員が地域に出向いた際、地域福祉の情報発信や社協事業のPRに取り組んだ。

##### (4) 支所だより及び本所だよりの発行

本所(野村だより)及び支所だよりを発行し、地域に根付いた広報活動をおこなった。

##### (5) 「地域福祉フォーラム」の開催

実施なし

#### 2 福祉教育の推進

##### (1) 福祉教育の推進

① 福祉協力校を指定し、市内の小学校、中学校、高等学校へ助成金を交付した。

② 市内の小中学校で高齢者疑似体験教室・車椅子教室・点字教室などの福祉教育に関するプログラムを実施し、次世代を担う子どもたちに「他者への思いやりの心」の養成に努めた。

##### (2) 高齢者に関する介護知識・技術等普及・出前講座の実施

① 福祉関係備品貸出 11件

② 介護予防サポーターなどへ認知症や介護予防に関するステップアップ研修会を実施し、地域の支え合い活動の担い手として普及啓発を図った。

(3) 合理的配慮の推進

○音楽祭開催に向けての打合せ

野村自治振興会が野村高校、宇和特別支援学校、野村学園と共同で開催を予定している音楽祭の打合せに参加 7回

3 寄付文化の醸成

(1) 西予市まごころ銀行の運営と寄付金活用事業の促進

① 預託者の意思に基づく有効活用事業の実施

ふれあい・いきいきサロン事業、給食サービス事業等の事業費として有効活用に努めた。

② まごころ銀行運営委員会の開催

行政、議会、地域福祉、自治会、地区選出等関係者 9 人の委員による「まごころ銀行運営委員会」を開催し、まごころ銀行を活用した事業内容及び予算・決算等について意見を求めた。

《第 1 回》

期 日 令和 5 年 5 月 30 日（火）10 時 00 分～

場 所 西予市社会福祉協議会・宇和支所 2 階会議室

出席人数 委員 9 人中 7 人出席

審 議

(1) 令和 4 年度「まごころ銀行」収支決算について

(2) その他

《第 2 回》

期 日 令和 6 年 2 月 22 日（木）14 時 00 分～

場 所 西予市社会福祉協議会・宇和支所 2 階会議室

出席人数 委員 9 人中 8 人出席

報 告

(1) まごころ銀行運営委員会委員の任期について

(2) 令和 5 年 4 月～令和 6 年 1 月「まごころ銀行」預託金の状況について

審 議

(1) 令和 5 年度「まごころ銀行」活用に係る補正について

(2) 令和 6 年度「愛媛県南予地区里親会」に対する活動助成金の審査について

(3) 令和 6 年度「まごころ銀行」を活用した事業・予算について

【まごころ銀行の預託実績】

社会福祉協議会活動の貴重な財源として、本所及び各支所にまごころ銀行を設置し、市民の皆様からの善意を頂いた。

(単位：円)

地区	野村	明浜	宇和	城川	三瓶	合計
預託額	2,858,263	10,240,000	980,000	1,950,288	586,678	16,615,229

- ③ 「社会福祉団体等」への助成  
1件：「愛媛県南予地区里親会」

- (2) 共同募金及び歳末たすけあい運動並びに日本赤十字社活動資金募集への協力

① 共同募金運動

- ・ 募集期間 令和5年10月～12月
- ・ 実績（円）前年比：97.0%

地区	本所 (野村)	明浜	宇和	城川	三瓶	小計	県本会受 付按分額	合計
金額	1,869,546	860,546	3,947,500	806,609	1,388,120	8,872,321	267,259	9,139,580

※「県本会受付按分額」は愛媛県共同募金会受付分を人口・世帯の指標を基に20の市町に按分した額

② 歳末たすけあい運動

- ・ 募集期間 令和5年11月～12月
- ・ 実績（円）前年比：98.2%

地区	本所(野村)	明浜	宇和	城川	三瓶	合計
金額	676,200	87,900	1,370,335	300,000	820,037	3,254,472

③ 日本赤十字社会員増強運動に伴う活動資金募集の協力

- ・ 募集期間 令和5年5月～6月
- ・ 実績（円）前年比：97.8%

地区	本所(野村)	明浜	宇和	城川	三瓶	合計
金額	1,140,500	545,447	2,083,641	505,000	1,168,000	5,442,588

【2】つながり・ささえあう地域づくり

1 民生児童委員協議会との連携

(1) 民生児童委員との協働及び活動への支援

① 心配ごと相談事業の実施

本所及び各支所が実施している「心配ごと相談所」において、心配ごと相談員として、市民の相談に対応して頂いた。

② 見守りを兼ねた給食サービス・オムツ配布等の実施

毎月、主に市内の独居世帯を対象に、見守りを兼ねた給食サービス（弁当等の配布）の実施に協力を頂いた。

また、給食サービス実施時に併せ、野村地区では、隔月で紙オムツの配布を、城川地区においては、年2回、紙オムツの配布に協力を頂き、三瓶地区では、誕生日プレゼントとして独居世帯へお菓子を配布するなど、各地域特有の取組みにも協力を頂いた。

(2) 安心キットの普及・啓発

民生児童委員協議会の協力のもと、各地区において安心キットについての周知及び利用を推進した。

【対象者等】

- ・ 75歳以上の一人暮らし世帯
- ・ 75歳以上の世帯
- ・ 身体障害者等の手帳所持者
- ・ その他、地区民生児童委員協議会会長が適当と認める者

【利用実績】（令和6年3月末現在）

		本 所	明浜支所	宇和支所	城川支所	三瓶支所	合 計
独居世帯	利用世帯数	264世帯	77世帯	358世帯	119世帯	205世帯	1,023世帯
	利用者数	264人	77人	358人	119人	205人	1,023人
高齢者世帯	利用世帯数	91世帯	21世帯	112世帯	40世帯	48世帯	312世帯
	利用者数	182人	42人	225人	79人	95人	623人
障害者手帳所持者	利用世帯数	19世帯	2世帯	19世帯	9世帯	8世帯	57世帯
	利用者数	20人	2人	19人	9人	8人	58人
その他	利用世帯数	36世帯	2世帯	28世帯	7世帯	21世帯	94世帯
	利用者数	45人	2人	28人	7人	28人	110人
合 計	利用世帯数	410世帯	102世帯	517世帯	175世帯	282世帯	1,486世帯
	利用者数	511人	123人	630人	214人	336人	1,814人

2 生活支援体制整備事業の推進（市：受託事業）

(1) 生活支援コーディネーターの配置

第1層コーディネーターの配置 1人（市全域）

第2層コーディネーターの配置 5人（旧町域）

(2) 「支え合い推進会議」（第1層・第2層協議体）の設置・運営

○ 第1層協議体（支え合い推進会議）の設置（市全域）

・ 開催：2回

○ 第2層協議体（支え合い推進会議）の設置（旧町単位）

・ 市内4箇所で開催（各地区1回 計4回開催）

(3) 地域の担い手の養成や住民主体による活動の支援

○ ポイント制ボランティア 登録者 49人

○ プレミアムポイントボランティア 登録者 14人

○ サポーター・ステップアップ研修会 5回（延べ62人参加）

○ 介護予防サポーター連絡会の協働

(4) 地域の集いの場づくりの推進及び活動活性化の支援

○ サロン研修会 市内 5回開催

○ 集いの場への訪問 市内 115回

(5) 地域資源の把握と地域課題の抽出

「地域のお宝ガイドブック Part2」や社協だより「おあしす」及び各支所だよりの紙面、フェイスブック等により、地域の支え合い活動の見える化に取り組んだ。

また、第1層・第2層の協議体を通じて、改めて地域の課題やその解決に向けた取り組みの状況などについて話し合う機会を設けた。

(6) 関係機関・団体等の連携

- 地域の会議等への参加や各地域づくり活動センターへの訪問  
明浜・宇和・野村・城川・三瓶：179回

(7) 新しい生活様式での地域の支え合い活動の推進

5類への移行に伴い、特に事業の実施はなし。

3 小地域活動の活性化に関する地域福祉事業及び活動の推進

(1) ふれあい・いきいきサロンの推進・充実

ひとり暮らしの高齢者等と地域住民（ボランティア等）が、自宅から歩いていける場所（集会所等）に気軽に集ったり、ふれあいを通して生きがいづくり・仲間づくりの輪を広げたり、地域の健康づくり（介護予防）の拠点として機能する活動を推進した。

① サロン研修交流会の開催	野村地区：参加者	68人	
	明浜地区：参加者	11人	
	宇和地区：参加者	35人	
	城川地区：参加者	21人	
	三瓶地区：参加者	22人	
② 各サロンへの助成 (助成金額)	野村：49サロン	990,000円	
	明浜：9サロン	190,000円	
	新規：30,000円	宇和：37サロン	760,000円
	継続：20,000円	城川：11サロン	230,000円
		三瓶：13サロン	290,000円

(2) 西予市生き生きシニアポイント事業の実施

- ポイント制ボランティア登録者 49人
- プレミアムポイントボランティア登録者 14人

※ 2生活支援体制整備事業の推進（市：受託事業）

(3) 地域支援の担い手の養成及び住民主体による活動の支援  
一部再掲

(3) 地区社会福祉協議会及び地域福祉活動の推進

宇和地区4地区社協、地域づくり組織3団体へ活動助成金



(4) 地域食堂の研究・推進

- ・ 活動が確認できている地域食堂 4 団体（明浜：2、野村：2）

(5) 地域づくり組織との連携・情報共有

令和 5 年度から設置された「地域づくり活動センター」との関係構築のため、積極的にセンター等に訪問し情報収集等に努めた。

4 ボランティア活動への支援

(1) ボランティア活動に対する情報の収集・提供及び啓発

- ・ 広報誌「おあしす」及びフェイスブックにて情報発信を行った
- ・ 県社協等が実施する研修会等に参加し情報収集に努めた

(2) 各種ボランティア講座・研修会の開催

① ボランティア養成講座の開催

2 講座開催 参加人数：計 27 人 修了者：計 20 人

② ボランティア研修会

野村地区：グループごとの話し合い

参加者：15 人

城川地区：災害時における高齢者への生活支援

参加者：10 人

③ 夏休みチャレンジ☆ボランティアの実施（市内全域）

福祉施設等でのボランティア体験を通して、障がいのある方や高齢者等への理解や小さい子どもへの思いやりの心を育てることを目的に実施した。

参加者：小・中・高生等 97 人参加

協力：西予総合福祉会、ひまわり育成会、三瓶福祉会、三瓶幼稚園  
俵津保育所、野村保育所、しろかわ保育所、西予市野城総合福祉協会

(3) ボランティア活動保険の加入促進

本所・各支所において加入促進：756 人加入

(4) ボランティア連絡協議会研修会等の開催

講演「地域みんなで支える認知症」

参加者：42 人

研修会「防災対策の講話、心肺蘇生法等の実技

参加者：46 人

5 地域みんなで支える子育て支援の推進

(1) 子育てサロンの推進

子育てサロン 2 件助成

(2) 子育て支援講座等の開催

○ 西予市民劇団「もんだかな」出前講座（1 回開催 参加者：120 人）

- 昔のおもちゃで遊ぼう（2回開催 参加者：園児 40人、高齢者 23人）
- 赤い羽根人形劇（1回開催 参加者：70人）
- 赤い羽根映画会（1回開催 参加者：90人）
- わたしへのごほうび講座：宇和（2回開催 参加者延べ 26人）
- 子どもと一緒に♪ヨガ教室：宇和（4回開催 参加者延べ 35人）

(3) 「地域食堂」の研究・推進

7ページ 3小地域活動の活性化に関する地域福祉事業及び活動の推進

(4) 地域食堂の研究・推進と同じ

(4) 令和5年度愛媛県ヤングケアラー支援のための関係機関研修への参加

日 時：令和5年8月10日（木）

会 場：大洲市総合福祉センター

参加者：1人

内 容：「ヤングケアラーの基礎理解と支援の考え方（講義）」

「県内自治体におけるヤングケアラー支援の取り組み」

6 災害ボランティア活動に関する研究及び啓発

(1) 災害ボランティアセンター中核スタッフ養成プログラムへの参加

○ 第5期 養成プログラムへ1人参加

○ 災害ボランティアセンター中核スタッフ養成研修参加（2日間）

(2) 災害時対応マニュアルの見直しに伴う研究

○ 令和6年能登半島地震災害ブロック派遣（1人）

期 間：令和6年2月19日～2月24日

場 所：石川県羽咋郡志賀町

内 容：志賀町社会福祉協議会及び志賀町災害ボランティアセンターの支援

○ 災害ボランティア研修会（臨時開催）

日 時：令和6年2月17日（土）

場 所：エスポワール愛媛文教会館

内 容：報告「能登半島地震における被害状況等」、意見交換

(3) 災害ボランティアに対する意識の啓発

災害ボランティア養成講座実施と兼ねる

(4) 災害ボランティア養成講座の開催

○ 令和5年度災害ボランティア養成講座の開催

日 時：令和5年10月22日（日）14時00分～

場 所：まなびあん

受講生：15人

(5) 災害時連携を念頭に置いたネットワークの推進・構築

○ 令和5年度4者連携枠組み構築推進研修会への参加

日 時：令和 5 年 10 月 6 日（金）13 時 00 分～  
会 場：にぎたつ会館  
内 容：講演：防災・減災、復旧・復興における専門士業の役割  
報告：愛媛弁護士会  
ディスカッション：「それぞれが担える役割を考える」  
「官民による被災者支援主体間の連携・協働」  
「市町における社会資源の洗い出し」

○ 令和 5 年度地域支え合い・災害支援ネットワーク会議への参加

【第 1 回】

日 時：令和 5 年 12 月 7 日（木）15 時 30 分～  
場 所：まなびあん  
内 容：説明「地域支え合い・包括的地域福祉推進事業」  
報告「平成 30 年 7 月豪雨災害の被災者支援」  
「八幡浜市版情報共有会議『トロール会議』」

【第 2 回】

日 時：令和 6 年 3 月 6 日（水）13 時 00 分～  
場 所：まなびあん  
内 容：協議「能登半島地震への対応等」  
「愛媛県で起こりうる災害に備えた取り組み」

(6) 感染症対策に配慮した災害ボランティアセンターの運営に関する研究  
新型コロナウイルス感染症の位置付けが「5 類感染症」に移行したこと  
に伴い実施なし。

7 新型コロナウイルスに対応した新たな地域福祉の推進

(1) 新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した「ふれあい・いきいきサロ  
ン」等の地域の「集いの場」の推進  
新型コロナウイルス感染症の位置付けが「5 類感染症」に移行したこと  
により活動再開、推進を呼びかけた。

(2) コロナ禍での新しいボランティア活動の推進

新型コロナウイルス感染症の位置付けが「5 類感染症」に移行したこと  
によりボランティア活動が通常どおり行われるよう推進した。

(3) オンラインによる研修会や講座の開催

新型コロナウイルス感染症の位置付けが「5 類感染症」に移行したこと  
により通常どおりの開催

8 地域づくり活動センターとの連携

(1) 地域づくり活動センターとの連携・情報共有

6 ページ、2 生活支援体制整備事業の推進 (6) 関係機関・団体等の連携  
と同じ

- (2) 地域づくり活動センター及び地域づくり組織との協働による地域福祉事業の推進

【3】福祉サービスの充実と包括的な相談体制づくり

1 相談体制の充実

(1) 総合的な相談体制の整備

地区担当を各支所に配置し、また、担当職員のスキルアップを図るため生活福祉資金貸付事業、福祉サービス利用援助事業、法人後見事業の研修会に参加した。

(2) 法律相談等の専門相談の実施

各支所にて実施（実施項目を参照）

(3) 地域包括支援センターとの協働による介護・福祉・認知症相談の実施

○ 各支所にて実施

明浜 8 回、宇和 12 回、野村 12 回、三瓶 6 回

(4) 民生児童委員定例会及び地域ケア会議等での情報共有

○ 民生児童委員定例会への参加

明浜 6 回、宇和 11 回、野村 18 回、城川 6 回、三瓶 9 回

○ 地域ケア会議への参加

明浜 2 回、宇和 3 回、野村 3 回、城川 2 回、三瓶 2 回

2 福祉サービスの充実

(1) 介護及び介護予防サービス部門等の適切な運営

- ・ 居宅介護支援事業 本所、宇和支所
- ・ 訪問介護事業 本所、宇和支所、城川支所
- ・ 訪問入浴介護事業 宇和支所（西予市を全域カバー）
- ・ 障がい福祉サービス事業 本所、宇和支所、城川支所
- ・ 第1号訪問事業 本所、宇和支所、城川支所
- ・ 第1号通所事業 本所、城川支所
- ・ 地域生活支援事業 宇和支所

上記の事業所体制により介護サービス事業及び障がい福祉サービス事業を推進し、適切な運営に努めた。

また、令和6年度から義務化される事項について、運営規程の改正等を含め整備を行った。

(2) 福祉人材養成・確保に関する事業の実施

- ・ ケアマネ更新研修費助成を行い、職員の負担軽減を図り雇用の確保に努めた（2人に助成）
- ・ ベースアップ等支援加算金を活用した臨時職員（ヘルパー）及び非常勤ヘルパーの賃金の増額を行った。

(3) 訪問介護員の資質向上の推進

- ・ 各事業所において月 1 回勉強会を実施
- ・ サービス提供責任者会の実施（2 回実施）
- ・ 管理者会（介護事故予防・防止委員会等）への参加 2 回
- ・ 介護知識・技術向上のため積極的に各種研修会に参加した

(4) 介護支援専門員の資質向上の推進

- ・ 各事業所において毎週 1 回の連絡会を実施
- ・ 管理者会（介護事故予防・防止委員会等）への参加 2 回
- ・ 介護知識向上のため積極的に各種研修会に参加した

(5) 介護用品販売事業の推進

明浜支所において介護用品（紙オムツ）の販売を行った。

年間利用者数：19 人                      販売回数：63 回

販売額：138,980 円

(6) 新型コロナウイルス感染症への対応

- ・ 感染症対策を徹底し、また、有事の際の対応等を協議し整備を図った
- ・ マスク、消毒液等の購入・整備に努めた

【4】安全・安心のまちづくり

1 福祉サービス利用援助事業の推進（日常生活自立支援事業）

(1) 福祉サービス利用援助事業の推進（愛媛県社協：受託事業）

判断能力に不安のある方に対し、福祉サービスの適切な利用のため一連の援助を行った

令和 6 年 3 月末日現在	利用者数	7 人
	専門員	3 人
	生活支援員	4 人
令和 5 年度における相談件数	問い合わせ	5 件
	初回相談	4 件
	利用者への相談援助	227 件

(2) 生活支援員の活動支援

- ・ 来所時の声掛けや報告書等で活動内容の確認を行った
- ・ 状況に応じて本所、県社協と連携して対応にあたった

○ 第 1 回専門員連絡会への参加

日 時：令和 5 年 6 月 9 日（金）

参加者：専門員 2 人

内 容：「愛媛県地域生活定着支援センターの事業概要について」  
「愛媛県地域生活定着支援センターから本事業につながった契約事例紹介」

意見交換、事業説明等

- 愛媛県成年後見制度意思決定支援研修会への参加
  - 日 時：令和5年11月13日（月）
  - 参加者：専門員3人
  - 内 容：「後見事務における意思決定支援について」  
「意思決定支援を踏まえた後見事務のガイドラインについて」
- 第2回専門員連絡会及び専門員・生活支援員研修会への参加
  - 日 時：令和6年2月16日（金）
  - 参加者：専門員3人
  - 内 容：「県内の社会的養護の現状、児童相談所の役割・関係機関との連携、児童養護施設退所者等の相談援助業務における留意点」  
「福祉サービス利用援助事業における権利擁護の理解とリスクマネジメント、若年者等の契約締結にかかる留意点及び審査のポイント」  
分科会：「第2回専門員連絡会」
- 福祉サービス利用援助事業 市町社協訪問支援
  - 日 時：令和5年9月5日（火）
  - 参加者：5人（地域福祉課長、専門員4人）
  - 内 容：調査票に基づく実施状況の聞き取り、預かり物等の保管状況の確認、不祥事防止のための注意喚起

## 2 成年後見制度の推進

### (1) 成年後見人後見業務の実施

判断能力が十分でない方の権利を守り財産を管理して支援を行った。

- ・ 法人後見受任者：1件（令和6年3月末現在）
- ・ 訪問支援回数：11回（面会中止1回：コロナ感染防止対策のため）
- ・ 後見事務報告：松山家庭裁判所宇和島支部へ提出（年1回）

### ○ 権利擁護担当者交流会への参加

日 時：令和5年8月2日（水）

会 場：きさいや広場「市民ギャラリー」

参加者：2人

内 容：「権利擁護の現状とこれから」

「成年後見制度利用促進における取り組みについて」

### ○ 権利擁護推進のための担い手養成研修会への参加

日 時：令和5年8月10日（木）

参加者：専門員2人

内 容：講義「成年後見制度概論」「意思決定支援を踏まえた就任から終了までの事務の概要」等

実践報告「社会福祉法人における法人後見受任体制の整備と後見業務について」 意見交換

- 第1回愛媛県成年後見制度利用促進協議会への参加
  - 日時：令和5年7月13日（木）
  - 参加者：1人
  - 内容：「第2期成年後見制度利用促進基本計画の進捗状況等について」（愛媛県）  
「市民後見人養成フォローアップの実施状況等について」（松山市社協）
- 第2回愛媛県成年後見制度利用促進協議会への参加
  - 日時：令和5年10月10日（火）
  - 参加者：1人
  - 内容：「市民後見人養成研修、令和6年度厚生労働省予算概算要求について」（愛媛県）  
「法人後見事業実施状況、法人後見支援員の活動状況等について」（八幡浜市社協）

(2) 法人後見運営委員会の開催：1回

法律関係者2人、医療・福祉関係者1人、学識経験者1人、行政関係者1人からなる「法人後見運営委員会（5人）」を設置

日時：令和5年5月10日（水）

会場：本会「宇和支所」

参加者：8人（運営委員5人、職員3人）

(3) 法テラス、関係機関との連携

新規受任依頼なし

受任中被後見人の相続手続きを司法書士へ依頼中（昨年の手続きの継続）

(4) 任意後見及び民事信託の研究

任意後見及び民事信託に関する研修会等に参加できなかった。

(5) 法人後見制度の啓発

中核機関にて啓発実施

(6) 西予市が設置する中核機関との連動及び成年後見制度利用促進基本計画に沿った成年後見制度の推進

- 第1回西予市成年後見制度中核機関連絡協議会へ委員1名参加

日時：令和5年5月26日（金）13時30分～

場所：西予市役所

- 第2回西予市成年後見制度中核機関連絡協議会へ委員1名参加

日時：令和6年2月21日（月）13時30分～

場所：西予市役所

### 3 援助及び生活支援

#### (1) 生活福祉資金貸付事業の推進（愛媛県社協からの受託事業）

本所・各支所にて貸付を推進した。

年間相談件数：47件（内、貸付件数：2件）

#### (2) 小口資金貸付事業の推進

宇和支所にて生活困窮者に対し一時的な貸付を行った。

相談件数：5件 貸付件数：2件

#### (3) 緊急食糧支援ネットワーク事業の実施（愛媛県社協からの受託事業）

生活困窮等により、食糧の確保が困難な者（世帯）に対して、緊急的に食糧の支給を実施

- ・支援世帯数 15件 23人
- ・支援食数 175食、米22.5kg

#### (4) 生活困窮者自立支援制度における福祉総合相談センター（市）との連携

必要に応じて随時相談・情報共有を行った。

#### (5) フード・ドライブ実施体制の研究

量販店のフードパントリーを野村地区の地域食堂で活用されている状況を確認

#### (6) 緊急小口資金及び総合支援資金（生活支援費）の特例貸付の償還に向けた支援

## 【5】信頼される社会福祉協議会づくり

### 1 社会福祉協議会の基盤強化

#### (1) 市社協の運営体制の整備と基盤強化

##### ① 理事会、評議員会、監査会の開催

##### 【理事会】

##### 《第1回》

期 日 令和5年6月13日（火）9時30分～

場 所 西予市社会福祉協議会・本所 会議室

出席人数 理事11人中10人出席 監事2人中2人出席

案 件

##### ○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第1号	令和4年度事業報告について
議案第2号	令和4年度収支決算について
議案第3号	令和5年度第1次資金収支補正予算について
議案第4号	理事・監事候補者の選定について



議案第 5 号	評議員候補者の推薦について
議案第 6 号	評議員選任・解任委員会の開催について
議案第 7 号	定時評議員会の開催について

《第 2 回》

期 日 令和 5 年 6 月 28 日 (水) 11 時 30 分～  
 場 所 西予市社会福祉協議会・本所 会議室  
 出席人数 理事 10 人中 10 人出席 監事 2 人中 2 人出席  
 案 件

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第 8 号	会長の選定について
議案第 9 号	副会長の選定について
議案第 10 号	常務理事の選定について

《第 3 回》

理事会の決議の省略  
 理事会の決議があったものとみなされた日  
 令和 5 年 7 月 26 日 (水)  
 決議事項を提案した者の氏名  
 会 長 宗 正 弘  
 理事からの同意 10 人  
 監事からの確認 2 人  
 案 件

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第 11 号	理事候補者の選定について
議案第 12 号	第 2 回評議員会の決議の省略について

《第 4 回》

理事会の決議の省略  
 理事会の決議があったものとみなされた日  
 令和 5 年 9 月 22 日 (金)  
 決議事項を提案した者の氏名  
 会 長 宗 正 弘  
 理事からの同意 11 人  
 監事からの確認 2 人  
 案 件

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第 13 号	臨時職員就業規則の一部改正について

《第 5 回》

□ 理事会の決議の省略

理事会の決議があったものとみなされた日

令和 5 年 12 月 19 日 (火)

決議事項を提案した者の氏名

会長 宗 正 弘

理事からの同意 11 人

監事からの確認 2 人

案 件

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第 14 号	宇和支所指定居宅介護支援事業所運営規程の一部を改正する規程制定について

《第 6 回》

期 日 令和 6 年 1 月 30 日 (火) 10 時 00 分～

場 所 西予市社会福祉協議会・本所 会議室

出席人数 理事 11 人中 11 人出席 監事 2 人中 2 人出席

案 件

○ 報告

報告番号	件 名
報告第 1 号	理事の就任について
報告第 2 号	令和 5 年度社会福祉法人指導監査の実施結果について
報告第 3 号	第 2 次「経営改善計画」について

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第 15 号	職員給与規則の一部を改正する規則制定について
議案第 16 号	嘱託職員就業規則の一部を改正する規則制定について
議案第 17 号	臨時職員就業規則の一部を改正する規則制定について

《第 7 回》

期 日 令和 6 年 3 月 19 日 (火) 9 時 00 分～

場 所 西予市社会福祉協議会・本所 会議室

出席人数 理事 11 人中 11 人出席 監事 2 人中 2 人出席

案 件

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第 18 号	職員給与規則の一部を改正する規則制定について
議案第 19 号	嘱託職員就業規則の一部を改正する規則制定について
議案第 20 号	臨時職員就業規則の一部を改正する規則制定について

議案第 21 号	事務局規程の一部を改正する規程制定について
議案第 22 号	庶務規程の一部を改正する規程制定について
議案第 23 号	旅費規程の一部を改正する規程制定について
議案第 24 号	西予市社会福祉協議会本所にて運営する訪問介護事業所及び第 1 号訪問事業所並びに障害福祉サービス事業所の廃止及び運営規程の廃止について
議案第 25 号	指定介護予防支援事業所西予市地域包括支援センター運営規程の一部を改正する規程制定について
議案第 26 号	指定居宅介護支援事業所運営規程の一部を改正する規程制定について
議案第 27 号	指定訪問介護事業所運営規程の一部を改正する規程制定について
議案第 28 号	指定訪問入浴介護事業所運営規程の一部を改正する規程制定について
議案第 29 号	西予市介護予防・日常生活支援総合事業における第 1 号訪問事業所運営規程の一部を改正する規程制定について
議案第 30 号	障がい者総合支援法に基づく運営規程の一部を改正する規程制定について
議案第 31 号	西予市介護予防・日常生活支援総合事業における第 1 号通所事業所運営規程の一部を改正する規程制定について
議案第 32 号	令和 5 年度第 2 次資金収支補正予算について
議案第 33 号	令和 6 年度事業計画について
議案第 34 号	令和 6 年度資金収支予算について
議案第 35 号	役員等賠償責任保険契約について
議案第 36 号	第 3 回評議員会の開催について
議案第 37 号	理事候補者の選定について

### 【評議員会】

#### 《第 1 回：定時評議員会》

期 日 令和 5 年 6 月 28 日（水）9 時 30 分～

場 所 西予市社会福祉協議会・本所 会議室

出席人数 評議員 21 人中 17 人出席 監事 2 人中 2 人出席

出席理事 会長、副会長、常務理事

案 件

#### ○ 報告

報告番号	件 名
報告第 1 号	評議員の交代について

#### ○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第 1 号	令和 4 年度事業報告について
議案第 2 号	令和 4 年度収支決算について
議案第 3 号	令和 5 年度第 1 次資金収支補正予算について
議案第 4 号	理事及び監事の選任について

《第2回》

□ 評議員会の決議の省略

評議員会の決議があったものとみなされた日

令和5年8月9日(水)

決議事項を提案した者の氏名

会長 宗正弘

評議員からの同意 21人

案 件

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第5号	理事の選任について

《第3回》

期 日 令和6年3月27日(水) 10時00分～

場 所 西予市社会福祉協議会・本所 会議室

出席人数 評議員21人中17人出席

出席理事 会長、副会長、常務理事

案 件

○ 報告

報告番号	件 名
報告第2号	第2次「経営改善計画」について

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第6号	令和5年度第2次資金収支補正予算について
議案第7号	令和6年度事業計画について
議案第8号	令和6年度資金収支予算について
議案第9号	理事の補欠選任について

【監査会】

期 日 令和5年5月23日(火) 9時00分～

場 所 西予市社会福祉協議会・本所

出席監事 上甲雅文、井上尚喜

出席理事 常務理事

監査事項 会計監査

- ① 会計処理
- ② 予算の編成状況
- ③ 契約状況
- ④ 決算関係
- ⑤ 会計帳簿の保存状況

業務監査

- ① 定款
- ② 評議員及び評議員会の開催状況

- ③ 理事・監事及び理事会の開催状況
- ④ 規則・規程の整備状況
- ⑤ 人事・労務管理
- ⑥ 事業報告・評価

【監事による現地監査】

ア 城川支所

期 日 令和5年12月20日（水）13:00～  
 実施場所 西予市社会福祉協議会 城川支所  
 出席監事 上甲雅文、宇都宮 裕  
 調査事項 城川支所の体制及び事業の進捗状況等

イ 本所

期 日 令和5年12月20日（水）15:00～  
 実施場所 西予市社会福祉協議会 本所  
 出席監事 上甲雅文、宇都宮 裕  
 調査事項 本所の体制及び事業の進捗状況等  
 包括本所の体制及び事業の進捗状況等

② 評議員選任・解任委員会の開催

《第1回》

期 日 令和5年6月21日（水）10時00分～  
 実施場所 西予市社会福祉協議会・本所  
 出席人数 評議員選任・解任委員5人中5人出席  
 出席理事 会長、常務理事  
 案 件

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第1号	評議員の補欠選任について

③ 役職員研修等の実施

愛媛県社協からの要請により「令和6年能登半島地震」で被害のあった石川県志賀町での災害ボランティアセンター運営支援を行った際の報告を行い、今後の有事の際に必要なことを改めて認識した。

日 時：令和6年3月19日（火）12:00～

場 所：西予市社会福祉協議会・本所

内 容：石川県志賀町「災害ボランティアセンター運営支援報告」

④ 円滑な事業実施体制の構築

会長への自己申告書の提出及び個人面談（常勤職員）を行うことで、個人の抱える悩み等への解決を推進し、働きやすい環境づくりに努めた。

⑤ 経営会議、業務執行会議の開催

ア 経営会議

法人の経営状況の把握及び経営方針等を協議するため、年間6回幹部職員による経営会議を開催した。

【構成（10人）】

会長、常務理事、事務局長、地域福祉課長、センター長、支所長、センター次長（2人）、宇和支所長補佐、城川支所長補佐

イ 業務執行会議

法人運営と事業推進を効果的に進めるため、年間10回管理職等による業務執行会議を開催し協議を行った。

【構成（15人）】

常務理事、事務局長、地域福祉課長、センター長、支所長、総務係長、センター次長（2人）、支所長補佐、地域福祉係長、居宅管理者（2人）、訪問介護管理者（3人）

⑥ 関係機関・団体との連携強化

○ 民生児童委員協議会及び関係機関・団体等との連携強化

民生児童委員協議会の定例会等に参加するとともに、老人クラブをはじめ、各福祉団体等の事業に協力して連携を強化した。

特に、地域福祉推進の担い手としての役割を持つ民生児童委員協議会には、給食サービス、ふれあい・いきいきサロン、安心カード見守り支援事業等の地域福祉事業についての協力を受け協働で推進を行った。

⑦ 事務処理の効率化とコストの削減

各会議等において収支状況を報告しコスト削減に努めるよう促した。

⑧ 社協会員制会費の推進

社会福祉協議会の経営基盤となる会員制会費を推進し、広く市民のご協力をいただいた。

ア 募集期間 令和5年6月～8月

イ 会員 一般会員：500円以上

特別会員：2,000円以上

ウ 実績

地 区	一般会員	特別会員	金 額（円）
本所（野村）	2,269	0	1,134,500
明 浜	1,082	0	551,150
宇 和	4,461	45	2,341,150
城 川	1,003	0	501,500
三 瓶	2,548	8	1,294,000
合 計	11,363	53	5,822,300

⑨ 情報公開への適切な対応

ホームページ等を活用し、社会福祉法で定められた定款、計算書類、役員等名簿、現況報告書等を遅滞なく掲載し情報開示に努めた。

⑩ 規則及び諸規程の整備

主には、人事院勧告等に基づく職員給与規則の給料、期末・勤勉手当の改正及び、最低賃金が引き上げられたことに伴う臨時職員就業規則の改正等を行った。

また、介護報酬の改定等に伴う各事業所の運営規程の改正等についても適宜実施した。

⑪ 経営改善計画の策定

急激な収支悪化への対応及び、継続可能な組織体制の構築を図るため7名の策定委員を選出し協議を重ね「第2次経営改善計画」を策定した。

⑫ 事業継続計画（BCP）の見直し

主には、新型コロナウイルス対応として各部署において、そのケースにあった見直しを行った。

(2) 地域福祉推進力の強化

① 地域福祉の企画・立案機能（新規事業）の体制整備

- ・地区担当者を明確にし、職員の意識改革に努めた。
- ・住民・地域の取組み内容を確認しながら、可能な限り実施・継続できるように、住民・地域と協働で取組んだ。

② 職員に対する研修事業の実施

職員研修委員会の開催（委員：6人）

◇ 研修委員会の開催

《第1回》 日 時：令和5年5月9日（火）  
場 所：宇和支所「会議室」  
内 容：R5年度職員研修会について

《第2回》 日 時：令和5年6月13日（火）  
場 所：宇和支所「会議室」  
内 容：会場の検討（野村・宇和の2ヶ所）  
開催時期の検討（10月～11月）  
講師等の検討（内容：ストレスマネジメント）

《第3回》 日 時：令和5年7月5日（水）  
場 所：宇和支所「会議室」  
内 容：研修内容「ストレスコントロールとセルフケア」  
講師：杉本詠二氏  
日程・会場の決定

《第4回》 日 時：令和5年8月9日（水）  
場 所：宇和支所「会議室」

内 容：研修の具体的な開催方法等について  
今後のスケジュールについて

《第5回》 日 時：令和5年10月18日（水）  
場 所：宇和支所「会議室」  
内 容：当日の役割、スケジュールについて  
準備物について

【研修内容】

演 題 「ストレスコントロールとセルフケア」  
～「マイナス感情・状態」の理解と調整方法～

講 師 今治明德短期大学 杉本 詠二 先生

ア 本所

日 時：令和5年11月7日（火）18時00分～

場 所：野村地域づくり活動センター

イ 宇和支所

日 時：令和5年11月13日（月）18時00分～

場 所：教育保健センター

《第6回》 日 時：令和5年12月26日（火）  
場 所：宇和支所「会議室」  
内 容：アンケート結果について  
令和6年度職員研修計画  
・テーマについて

③ 総合事業に対応する生活支援サービスの研究・整備  
生活支援体制整備事業において実施

④ 職員の資格等取得の促進

個人面談等において、介護支援専門員・社会福祉士等の資格取得の促進  
を図った。

(3) 地域福祉活動の推進

研修会等参集する事業については、通常どおりの開催ができたが、一部の  
事業については、新型コロナウイルス感染対策期に休止・中止されたこ  
とで再開できない事例もあった。

(4) 第2期地域福祉活動計画策定に向けての研究

福祉座談会の開催も予定していたが、本年においては、受託事業である  
生活支援体制整備事業の第2層協議体の開催に注力したので実施しなかつ  
た。

2 関係機関との連携強化

(1) 社会福祉法人連絡協議会の開催

コロナ感染防止のため令和5年度は開催を見送った。



(2) 法人間のネットワークの構築

理事会、評議員会等の諸会議及び各研修会参加時に情報交換を行い関係構築に努めた。

(3) 法人の連携による福祉教育に関する事業の推進

未実施

(4) 法人の連携による成年後見制度の受任体制の整備に関する研究

12 ページ「社会福祉法人における法人後見受任体制の整備と後見業務について」をテーマにした権利擁護推進のための担い手養成学習会への参加

【6】 地域包括的支援事業の推進（地域包括支援センター事業報告参照）

- 1 総合相談支援事業
- 2 権利擁護事業
- 3 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業
- 4 認知症総合支援事業
- 5 在宅医療・介護連携推進事業
- 6 介護予防・日常生活支援総合事業
- 7 介護予防支援事業

以下、本所及び各支所の事業報告項目

拠点区分	サービス区分	事業名	
1. 法人運営事業	1. 法人運営事業	本所業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○理事会の開催 (7回) ※ 内、3回は「決議の省略」</li> <li>○評議員会の開催 (3回) ※ 内、1回は「決議の省略」</li> <li>○監査会の開催 (1回)</li> <li>○監事による現地監査 (城川支所、本所)</li> <li>○評議員選任・解任委員会 (1回)</li> <li>○経営会議の開催 (6回)</li> <li>○業務執行会議の開催 (10回)</li> <li>○規則及び諸規程の整備</li> <li>○法人業務の運営</li> <li>○本所・各支所間の連絡調整</li> <li>○役職員研修の実施 (1回)</li> <li>○職員研修委員会の開催 (6回)</li> <li>○職員研修会の開催 本所・宇和支所 各1回</li> <li>○個人面談の実施</li> <li>○愛媛県社会福祉大会への参加 (118名)</li> </ul>
	2. 支所法人運営事業	野村業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全戸会員制会費の推進</li> <li>○車輛の維持・管理</li> </ul>
	3. まごころ銀行運営事業	本所業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まごころ銀行運営委員会の開催 (2回)</li> <li>○活用事業 (2,271,958円) <ul style="list-style-type: none"> <li>・南予里親会への助成 30,000円</li> <li>・社協広報誌作成費等 694,425円</li> <li>・社協ホームページ運営費等 82,002円</li> <li>・研修会等 27,540円</li> <li>・地域福祉活動計画評価 35,939円</li> <li>・災害ボランティア研修会等 71,615円</li> <li>・非常食等整備 ※319,485円</li> <li>・給食サービス ※722,550円</li> <li>・福祉サービス利用援助事業 5,350円</li> <li>・車両経費 (2台) ※125,678円</li> <li>・運営委員等旅費 58,500円</li> <li>・お礼状等 (和紙・線香他) 98,874円</li> </ul> </li> </ul> <p>注) ※は、社会福祉充実計画に基づくもの</p>
		野村業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○預託件数 99件 (金銭預託：98件、物品預託：1件)</li> </ul>

拠点区分	サービス区分	事業名	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○預託金額 2,858,263 円</li> <li>○活用事業 (1,816,971 円)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者生活支援事業 1,108,251 円</li> <li>・家族介護支援事業 8,556 円</li> <li>・給食サービス事業 700,164 円</li> </ul> </li> </ul>
2. 地域福祉活動事業	4. 調査・企画・広報事業	本所業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社協広報「おあしす」の発行 (年5回)</li> <li>○社協ホームページ・フェイスブックの運用</li> <li>○地域食堂の研究・推進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・視察中止</li> </ul> </li> <li>○フード・ドライブの研究</li> <li>○地域協働ネットワークの研究・推進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会等3回参加</li> </ul> </li> <li>○災害時対応マニュアルの見直しに伴う研究                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年能登半島地震応援職員派遣</li> </ul> </li> <li>○地域課題研修会の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・各研修会等への参加</li> </ul> </li> <li>○福祉座談会の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・未実施</li> </ul> </li> <li>○災害ボランティア養成講座の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月22日実施</li> </ul> </li> <li>○地域づくり組織及び地域づくり活動センターとの連携・情報共有</li> <li>○心のバリアフリー推進の協働                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽祭関連の打合せ会等参加：6回</li> </ul> </li> <li>○伴走型支援体制の推進</li> <li>○災害VCマネジメントの研究                             <ul style="list-style-type: none"> <li>※災害時対応マニュアルの見直しに伴う研究と同じ</li> </ul> </li> <li>○ヤングケアラーの現状把握と課題解決に向けた取り組みについて                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会への参加</li> </ul> </li> <li>○災害用非常食の備蓄及び緊急食糧支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・延べ15世帯に支給</li> </ul> </li> </ul>
		野村業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○野村だよりの発行 (年12回)</li> <li>○フェイスブックの運営 3回投稿</li> <li>○地域食堂の研究・推進 5回確認</li> <li>○地域づくり組織及び地域づくり活動センターとの連携・情報共有                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域づくり活動センター訪問等</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: right;">野村地区 7回</p>

拠点区分	サービス区分	事業名
		溪筋地区 8回 中筋地区 9回 貝吹地区 8回 横林地区 8回 惣川地区 8回 大野ヶ原地区 9回 ○心のバリアフリー推進の協働 ※本所・調査・企画・広報に同じ ○伴走型支援体制の推進
	5. 地区社協育成事業	
	6. 高齢者生活支援事業	本所業務 野村業務
		○ふれあい・いきいきサロン事業 ・高齢者サロン 49箇所 ○サロン交流研修会の開催 サロン参加者 68人 実施日：令和6年2月14日（水） 内容：サロンでできるレクリエーション 講師：愛媛県レクリエーション協会 副会長 久保田 加寿美氏 ○安心カードみまもり支援事業 「安心キット」利用実績（令和6年3月末現在） ・利用世帯数 410世帯 ・利用者数 511人 （内訳） <input type="checkbox"/> 独居世帯（75歳以上） ・利用世帯数 264世帯 ・利用者数 264人 <input type="checkbox"/> 高齢者世帯（75歳以上） ・利用世帯数 91世帯 ・利用者数 182人 <input type="checkbox"/> 身体障害者等手帳所持者 ・利用世帯数 19世帯 ・利用者数 20人 <input type="checkbox"/> その他（必要と思われる方） ・利用世帯数 36世帯 ・利用者数 45人



拠点区分	サービス区分	事業名	
			<p>(第2層) 4回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ポイント制ボランティアの推進 登録者 49人</li> <li>○プレミアムポイントボランティアの推進 登録者 14人</li> <li>○介護予防サポーター連絡会の協働</li> <li>○介護予防サポーターステップアップ研修 の開催 5回(延べ62人参加)</li> <li>○集いの場づくり 集いの場への訪問</li> <li>○「心のバリアフリー」推進の協働 ※本所・調査・企画・広報に同じ</li> <li>○「地域のお宝」ガイドブック Part2 の作成</li> </ul>
		野村業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第2層協議体の実施 令和5年11月21日(火)14:00～ 役職選任・事業説明・意見交換会 等</li> <li>○介護予防サポーター養成講座 令和6年3月21日(木) ※ボランティア研修会と兼ねて開催</li> <li>○地域の集いの場づくりの推進及び活動活性化の支援 ・集いの場への訪問 17回</li> <li>○関係機関・団体との連携 35回 ・地域の会議等(自治振や学校など)に参加</li> <li>○新しい生活様式での地域の支え合い活動の推進</li> </ul>
	11. 福祉等総合相談事業	野村業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○法律相談 年6回 相談件数 19件</li> <li>○心配ごと 年12回 相談件数 3件</li> </ul>
	12. 福祉サービス利用援助事業	野村業務	野村地区利用者1人
	13. 法人後見事業	野村業務	<p>野村地区受任1件 月1回施設へ訪問</p> <p>※被後見人が入所している施設でクラスター発生のため、1月は訪問中止</p>
	14. 生活福祉資金貸付事業	本所業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県社協、各支所、福祉事務所等との連絡調整 月次報告：12回</li> </ul>

拠点区分	サービス区分	事業名	
			○特例貸付借受世帯への相談支援 宇和支所 1件 野村本所 2件 3件
		野村業務	○貸付件数 1件 ○相談件数 11件
	15. 小口資金貸付事業	宇和業務	
3. 共同募金配分事業	16. 一般募金配分金事業	本所業務	○老人クラブ活動助成（市老連へ） ○身体障害者協会活動助成（市身障協会へ） ○手をつなぐ育成会助成（2地区） ○福祉協力校助成（21校） ○少年の日記念品贈呈事業 @1,500円×299人 ○民生児童委員協議会活動助成（市民協へ） ○更生保護女性会活動助成 （市更生保護女性会へ） ○ボランティア団体助成 19団体
		野村業務	○お年寄りと子供の談話室助成 3地区 ○イベントでのバルーン配布を行い、赤い羽根共同募金の周知 実施日：令和5年10月1日（日） 内容：こどもまつり（児童館主催） ○子供会活動助成 6地区 ○見守りネットワークの推進 ・研修会・8箇所 参加人数 238人 （参考） 見守り対象者 146人 集落員（ボランティア） 218人 ○災害用機材整備事業
	17. 歳末たすけあい配分事業	本所業務	○施設配分 特産品の送付 28施設（615人）  ○養護施設 義援金 23人 支度金 5人 ○療育センター 義援金 12人
		野村業務	○餅配分 220世帯 237人 ○低所得世帯 0世帯 0人 ○作業所支援 1件

拠点区分	サービス区分	事業名	
4. 居宅介護等事業	18. 居宅介護支援事業	野村業務	○令和6年3月末現在 (172人) 介護予防支援受託 (8人) ・要支援1 4人 ・要支援2 4人 第1号介護予防支援受託 (1人) ・事業対象 1人 介護保険 (163人) ・要介護1 79人 ・要介護2 40人 ・要介護3 23人 ・要介護4 13人 ・要介護5 8人
	19. 訪問介護事業	本所業務	
		野村業務	○令和6年3月末現在 (17人) ・要介護1 8人 ・要介護2 6人 ・要介護3 1人 ・要介護4 1人 ・要介護5 1人
	20. 訪問入浴介護事業	本所業務	
	21. 障がい福祉サービス事業	本所業務	
		野村業務	○令和6年3月末現在 4人
	22. 第1号訪問事業	本所業務	
		野村業務	○令和6年3月末現在 (10人) ・要支援1 5人 ・要支援2 5人 ・事業対象 0人
	23. 第1号通所事業	野村業務	○令和6年3月末現在 35人
	24. 地域生活支援事業	野村業務	○令和6年3月末現在 0人
6. 介護用品販売事業	32. 介護用品販売事業		



拠点区分	サービス区分	事業名
1. 法人運営事業	1. 法人運営事業	
	2. 支所法人運営事業	○支所の運営事務 ○全戸会員制会費の推進 ○車輛の維持・管理
	3. まごころ銀行運営事業	○預託件数 10件 ○預託金額 10,240,000円 ○活用事業(200,000円) ・高齢者生活支援事業 100,000円 ・給食サービス事業 100,000円
2. 地域福祉活動事業	4. 調査・企画・広報事業	○明浜支所だよりの発行(年4回) ○フェイスブックの運営 投稿0回 ○地域づくり組織及び地域づくり活動センターとの連携・情報共有 ・地域づくり活動センター訪問等 60回
	5. 地区社協育成事業	
	6. 高齢者生活支援事業	○ふれあいいいききサロン事業 ・高齢者サロン 8箇所 ・子育てサロン 1箇所 ○サロン交流研修会 日時:令和6年3月12日(火) 内容:緊急時に対する日頃の備え 参加者:11人 ○安心カードみまもり支援事業 「安心キット」利用実績(令和5年3月末現在) ・利用世帯数 102世帯 ・利用者数 123人 (内訳) □独居世帯(75歳以上) ・利用世帯数 77世帯 ・利用者数 77人 □高齢者世帯(75歳以上) ・利用世帯数 21世帯 ・利用者数 42人 □身体障害者等手帳所持者 ・利用世帯数 2世帯 ・利用者数 2人

拠点区分	サービス区分	事業名
		<input type="checkbox"/> その他（必要と思われる方） ・利用世帯数 2世帯 ・利用者数 2人
	7. 家族介護支援事業	<input type="checkbox"/> 車いす貸与（短期間） 10件
	8. 給食サービス事業	<input type="checkbox"/> 給食サービス ・年12回 延べ配食数 1,589食
	9. ボランティア活動 推進事業	<input type="checkbox"/> ボランティア登録数 ①個人 0人 ②団体 6団体 団体所属人員 78人（他の団体と重複8人） ③ボランティア保険加入者 71人 ④その他団体 1団体 その他団体所属人員 18人 ※ボランティア活動を主目的としていない団体 <input type="checkbox"/> 福祉協力校 2校 明浜小学校（5年生）福祉教育講座 参加者12人 <input type="checkbox"/> 福祉関係備品貸出 1件
	10. 生活支援体制整備 事業	<input type="checkbox"/> 協議体の設置・運営（第2層） 日 時：令和6年3月14日（木）14:00～ 場 所：高山・宮之浦地域づくり活動センター2階 参加者：7人 <input type="checkbox"/> 介護予防サポーターステップアップ研修会 1回 日 時：3月12日 会 場：俵津地域づくり活動センター2階大ホール 参加者：7人 <input type="checkbox"/> 地域の集いの場づくりの推進及び活動活性化の支援 ・集いの場への訪問 19回 <input type="checkbox"/> 関係機関・団体との連携 29回 各地域づくり活動センターへの訪問や地域づくり組織の理事会等に参加 <input type="checkbox"/> 新しい生活様式での地域の支え合い活動の推進
	11. 福祉等総合相談事業	<input type="checkbox"/> 法律相談 年4回 相談件数 5件 <input type="checkbox"/> 心配ごと相談 年8回 相談件数 0件 <input type="checkbox"/> 相談員研修会 未実施
	12. 福祉サービス利用 援助事業	

拠点区分	サービス区分	事業名
	13. 法人後見事業	
	14. 生活福祉資金貸付事業	○貸付件数 0件 ○相談件数 0件
	15. 小口資金貸付事業	
3. 共同募金配分事業	16. 一般募金配分金事業	○西予市民劇団「もんたかな」出前講座 日 時：11月30日 会 場：明浜中学校体育館 受講者：小・中学生 参加者 120人 ○おはなし会 1回（5月6日） 狩江地域づくり活動センター 参加者 45人 ※他2回は調整が付かず未実施 ○ちいきカフェ 1回（田之浜） 参加者 16人 ※他地区は調整付かず ○あけはま大好き大作戦～海大好き～ 参加者 28人
	17. 歳末たすけあい配分事業	○歳末たすけあい配分 ・昔のおもちゃで遊ぼう（幼児と高齢者の交流会） 高山保育園（1/23） 園児 16人 高齢者 11人 俵津保育所（2/19） 園児 24人 高齢者 12人 ・地域の集いの場促進（ベンチの設置） 俵津地区
4. 居宅介護等事業	18. 居宅介護支援事業	
	19. 訪問介護事業	
	20. 訪問入浴介護事業	
	21. 障がい福祉サービス事業	
	22. 第1号訪問事業	
	23. 第1号通所事業	
	24. 地域生活支援事業	
6. 介護用品販売事業	32. 介護用品販売事業	○紙おむつ販売 年間利用者数 19人 販売回数 63回

拠点区分	サービス区分	事業名
1. 法人運営事業	1. 法人運営事業	
	2. 支所法人運営事業	○支所の運営事務 ○全戸会員制会費の推進 ○車輛の維持・管理
	3. まごころ銀行運営事業	○預託件数 36件 (金銭預託：35件、物品預託：1件) ○預託金額 980,000円 ○活用事業(2,156,334円) ・高齢者生活支援事業 848,530円 ・給食サービス事業 1,307,804円
2. 地域福祉活動事業	4. 調査・企画・広報事業	○宇和支所だよりの発行(年4回) ○フェイスブックの運営 投稿8回 ○地域づくり組織及び地域づくり活動センターとの連携・情報共有 ・地域づくり活動センター訪問等 13回
	5. 地域福祉活動育成事業	○地域福祉活動育成助成 ・7地区社協(一般会費の約50%を助成)
	6. 高齢者生活支援事業	○ふれあいいいききサロン事業 ・高齢者サロン 36箇所 ・子育てサロン 1箇所 ・障害者サロン 1箇所 ○サロン交流研修会の開催 日 時：令和6年2月28日(水)13:30～ 場 所：西予市図書交流館まなびあん 内 容：笑いヨガ・スリーA認知症予防ゲーム 参加者：35人 ○安心カードみまもり支援事業 「安心キット」利用実績(令和6年3月末現在) ・利用世帯数 517世帯 ・利用者数 630人 (内訳) □独居世帯(75歳以上) ・利用世帯数 358世帯 ・利用者数 358人 □高齢者世帯(75歳以上) ・利用世帯数 112世帯 ・利用者数 225人

拠点区分	サービス区分	事業名
		<p>□身体障害者等手帳所持者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用世帯数 19世帯</li> <li>・利用者数 19人</li> </ul> <p>□その他（必要と思われる方）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用世帯数 28世帯</li> <li>・利用者数 28人</li> </ul>
	7. 家族介護支援事業	<p>○車いすの貸与（短期間） 43件</p> <p>○在宅介護者の集いの開催</p> <p>日 時：令和6年3月18日（月）10：00～</p> <p>場 所：ジオ・キッチン イベントホール</p> <p>内 容：杉本詠二氏による講演、意見交換</p> <p>参加者：14人</p>
	8. 給食サービス事業	<p>○給食サービス（7地区で実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区年12回 延べ配食数 7,585食</li> </ul> <p>※外注</p>
	9. ボランティア活動 推進事業	<p>○ボランティア登録数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①個人 1人</li> <li>②団体 11団体</li> <li>団体所属人員 175人</li> <li>③ボランティア保険加入者 378人</li> <li>④その他団体 3団体</li> <li>その他団体所属人員 155人</li> </ul> <p>○ボランティア養成講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朗読・読み聞かせ講座（全5回） 受講生8人 修了者数7人</li> <li>・朗読ボランティア現任研修会 年間3回開催 参加者数延べ47人</li> <li>・傾聴講座（全5回） 受講生19人 修了者数13人</li> </ul> <p>○福祉ふれあい体験ボランティアへの協力 宇和・明浜・三瓶地区 43人（延べ196人）</p> <p>○西予市ボランティア連絡協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総会・研修会の開催</li> <li>日 時：令和5年6月12日（月）13：30～</li> <li>場 所：西予市教育保健センター</li> <li>内 容：講演「地域のみんなで支える認知症」</li> <li>講 師：杉本詠二氏</li> <li>参加者：42人</li> </ul>

拠点区分	サービス区分	事業名
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・西予ボランティア研修会の開催 日 時：令和6年2月14日（水）13：30～ 場 所：西予市教育保健センター 内 容：講話（防災対策）、実技（心肺蘇生法等） 講 師：西予市消防署 参加者：46人</li> <li>○福祉教育推進事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校（4校） 4回 延べ126人</li> <li>・中学校 2回 延べ312人</li> <li>・就労支援事業所 1回 15人</li> </ul> </li> <li>○福祉関係備品貸出 7件</li> </ul>
	10. 生活支援体制整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活支援コーディネーターの設置（第2層）</li> <li>○地域の集いの場づくりの推進及び活動活性化の支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>・集いの場への訪問 49回</li> </ul> </li> <li>○関係機関・団体との連携 37回 地区社協の会議、民生児童委員との話し合いに参加</li> <li>○新しい生活様式での地域の支え合い活動の推進</li> </ul>
	11. 福祉等総合相談事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○法律相談所 年 6回 相談件数 26件</li> <li>○心配ごと相談所 年 24回 相談件数 15件</li> <li>○登記相談 年 6回 相談件数 21件</li> </ul>
	12. 福祉サービス利用 援助事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和6年3月末現在 利用者数 7人 (専門員援助 3人、支援員援助 4人)</li> <li>利用相談件数 9件 (問合せ5件；三瓶1、宇和3、野村1)</li> <li>初回相談4件；宇和2、城川1、三瓶1)</li> <li>相談援助 227件</li> </ul>
	13. 法人後見事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和6年3月末現在 受任件数1件（野村地区）</li> <li>○訪問回数 11回</li> <li>※1月については、コロナの影響で訪問中止</li> <li>○会議の開催               <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営委員会 1回</li> <li>・受任審査会 0回</li> </ul> </li> </ul>
	14. 生活福祉資金貸付 事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○貸付件数 1件</li> <li>○相談件数 32件</li> </ul>
	15. 小口資金貸付事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○貸付件数 2件</li> <li>○相談件数 5件</li> </ul>

拠点区分	サービス区分	事業名
3. 共同募金配分事業	16. 一般募金配分金事業	<p>○高齢者支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい暑中見舞い事業 対象 80歳以上一人暮らし高齢者 363人</li> <li>・一人暮らし高齢者激励会(助成) 234人(6箇所)</li> <li>・地域の縁側事業(助成) 1箇所</li> <li>・小地域集いの場育成事業 22人(2箇所)</li> </ul> <p>○障害児・者福祉活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「おイネ号」で旅をしよう!Part21 実施日:令和5年11月12日(日) 行先:高知日曜市、かつおの薫焼き体験 参加者:障害者、高齢者、ボランティア 46人</li> </ul> <p>○児童・青少年福祉活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤い羽根人形劇 実施日:令和5年6月18日(日) 内容:へんてこげきじょう(人形劇団京芸) 会場:宇和児童館 参加者:70人</li> <li>・赤い羽根映画会 実施日:令和5年8月5日(土) 上映作品:ミニオンズフィーバー 会場:愛媛県歴史文化博物館 参加者:90人</li> <li>・青少年健全育成事業(地区社協等へ助成)7箇所</li> </ul> <p>○子育て支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもと一緒に♪ヨガ教室 4回開催 参加者数延べ 35人</li> <li>・私へのごほうび講座 2回開催 参加者数延べ 26人 (内容:正月飾り作り、ハンドマッサージ)</li> </ul> <p>○AED整備事業 バッテリー購入</p>
	17. 歳末たすけあい配分事業	<p>○宇和地区作業所等助成 2施設</p> <p>○低所得世帯 14世帯・27人</p> <p>○在宅介護者 40人</p> <p>○交通災害遺児 0人</p> <p>○在宅心身障害児 8人</p> <p>○お楽しみ抽選会(宇和児童館クリスマス会) 120人</p>

拠点区分	サービス区分	事業名
4. 居宅介護等事業	18. 居宅介護支援事業	○令和6年3月末現在 (182人) 介護予防支援受託 (6人) ・要支援1 4人 ・要支援2 2人 第1号総合事業受託 (1人) ・事業対象 1人 介護保険 (175人) ・要介護1 74人 ・要介護2 51人 ・要介護3 27人 ・要介護4 17人 ・要介護5 6人
	19. 訪問介護事業	○令和6年3月末現在 (30人) ・要介護1 16人 ・要介護2 10人 ・要介護3 2人 ・要介護4 1人 ・要介護5 1人
	20. 訪問入浴介護事業	○令和6年3月末現在 (14人) ・要介護1 1人 ・要介護2 2人 ・要介護3 3人 ・要介護4 3人 ・要介護5 5人
	21. 障がい福祉サービス事業	○令和6年3月末現在 18人 (居宅介護 13人、同行援護 5人)
	22. 第1号訪問事業	○令和6年3月末現在 (44人) ・要支援1 15人 ・要支援2 25人 ・事業対象 4人
	23. 第1号通所事業	
6. 介護用品販売事業	24. 地域生活支援事業	○令和6年3月末現在 2人
	32. 介護用品販売事業	



拠点区分	サービス区分	事業名
1. 法人運営事業	1. 法人運営事業	
	2. 支所法人運営事業	○支所の運営事務 ○全戸会員制会費の推進 ○車輛の維持・管理
	3. まごころ銀行運営事業	○預託件数 41 件 ○預託金額 1,950,288 円 ○活用事業 (979,669 円) ・高齢者生活支援事業 276,467 円 ・給食サービス事業 703,202 円
2. 地域福祉活動事業	4. 調査・企画・広報事業	○城川支所だよりの発行 (年4回) ○フェイスブックの運営：投稿9回 ○地域食堂の研究・推進 ・未実施 ○地域づくり組織及び地域づくり活動センターとの連携・情報共有 ・地域づくり活動センター訪問等 57 回
	5. 地区社協育成事業	
	6. 高齢者生活支援事業	○ふれあいいきいきサロン事業 ・高齢者サロン 11 箇所 ・子育てサロン 0 箇所 ・障害者サロン 0 箇所 ・休会 0 箇所 ・サロン交流研修会の開催 日 時：令和6年1月12日(金) 午後1時30分～ 場 所：西予市城川支所3階大会議室 内 容：①「健康寿命を延ばそう体操」 講 師：健康運動指導士 川口るみ氏 ②「元気に過ごそう～終活と介護予防～」 地域包括支援センター センター次長 楠 千津 社会福祉士 松本 志保 参加者：サロン会員 21 人  ○安心カードみまもり支援事業 「安心キット」利用実績 (令和6年3月末現在) ・利用世帯数 175 世帯 ・利用者数 214 人

拠点区分	サービス区分	事業名
		<p>(内訳)</p> <p>□独居世帯 (75 歳以上)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用世帯数 119 世帯</li> <li>・利用者数 119 人</li> </ul> <p>□高齢者世帯 (75 歳以上)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用世帯数 40 世帯</li> <li>・利用者数 79 人</li> </ul> <p>□身体障害者等手帳所持者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用世帯数 9 世帯</li> <li>・利用者数 9 人</li> </ul> <p>□その他 (必要と思われる方)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用世帯数 7 世帯</li> <li>・利用者数 7 人</li> </ul> <p>○町老人クラブ連合会クロッケー大会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時: 令和5年7月27日(木) 午前8時～</li> <li>・場 所: 城川総合運動公園 グラウンド</li> <li>・参加者: 12 チーム</li> </ul>
	7. 家族介護支援事業	○車いす貸与 (短期間) 0 件
	8. 給食サービス事業	<p>○給食サービス (毎月1回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数 12 回 (弁当: 9 回 パン食: 3 回)</li> <li>・延べ配食数 2,471 食</li> <li>・ボランティア人数 (パン食仕分け) 4 人</li> </ul>
	9. ボランティア活動 推進事業	<p>○ボランティア登録数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①個人 0 人</li> <li>②団体 3 団体</li> <li>団体所属人数 56 人</li> <li>③ボランティア活動保険加入者 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア登録者 98 人</li> </ul> </li> <li>④その他の団体等 1 団体</li> <li>所属人数 24 人</li> <li>※ボランティア活動保険の請求 1 件</li> </ul> <p>○夏休みチャレンジ☆ボランティア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者 城川小学校 12 人</li> <li>城川中学校 5 人</li> </ul>

拠点区分	サービス区分	事業名
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力 認定こども園しろかわ保育所 西予市野城総合福祉協会</li> <li>○福祉教育の推進                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉体験教室依頼なし</li> </ul> </li> <li>○福祉関係備品貸出 <span style="float: right;">2件</span></li> <li>○ボランティア研修会                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時：令和6年3月15日（金） 13:30～</li> <li>・場所：西予市城川支所3階大会議室</li> <li>・内容：「災害時における高齢者への生活支援」</li> <li>・講師：日本赤十字社愛媛県支部事業推進課 福祉係長 鶴久森陽子 氏</li> <li>・対象者：ボランティア関係者 10人</li> <li>※介護予防サポーターステップアップ研修会と兼ねて開催</li> </ul> </li> </ul>
	10. 生活支援体制整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○協議体の設置・運営（第2層）                         <ul style="list-style-type: none"> <li>日時：令和5年8月18日（金） 14:00～</li> <li>場所：西予市役所城川支所3階「中会議室」</li> <li>参加者：10人</li> </ul> </li> <li>○地域の集いの場づくりの推進及び活動活性化の支援 <span style="float: right;">7箇所</span></li> <li>○介護予防サポーターステップアップ研修会                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア研修会と兼ねて開催：ボランティア活動推進事業で掲載</li> </ul> </li> <li>○新しい生活様式での地域の支え合い活動の推進                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・集いの場への訪問 <span style="float: right;">10回</span></li> </ul> </li> <li>○関係機関・団体との連携 <span style="float: right;">65回</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域づくり活動センター訪問：調査・企画・広報事業で掲載</li> </ul> </li> </ul>
	11. 福祉等総合相談事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○法律相談 <span style="float: right;">年6回 相談件数 14件</span></li> <li>○心配ごと相談 <span style="float: right;">年6回 相談件数 6件</span></li> </ul>
	12. 福祉サービス利用援助事業	
	13. 法人後見事業	
	14. 生活福祉資金貸付事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○貸付件数 <span style="float: right;">0件</span></li> <li>○相談件数 <span style="float: right;">0件</span></li> </ul>

拠点区分	サービス区分	事業名
	15. 小口資金貸付事業	
3. 共同募金配分事業	16. 一般募金配分金事業	<p>○紙おむつの配布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数 27人</li> <li>・配布月 5月・10月（年2回）</li> </ul> <p>※上段以外の月は、随時配布</p> <p>○赤い羽根共同募金の広報啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・城川小学校において、壁新聞による周知・啓発活動</li> <li>・城川中学校において、ポスター、クリアファイルによる周知・啓発活動</li> </ul>
	17. 歳末たすけあい配分事業	<p>○歳末たすけあい義援金の配布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅生活世帯 24世帯</li> </ul>
4. 居宅介護等事業	18. 居宅介護支援事業	
	19. 訪問介護事業	<p>○令和6年3月末現在（18人）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要介護1 11人</li> <li>・要介護2 3人</li> <li>・要介護3 2人</li> <li>・要介護4 2人</li> <li>・要介護5 0人</li> </ul>
	20. 訪問入浴介護事業	
	21. 障がい福祉サービス事業	<p>○令和6年3月末現在 1人</p>
	22. 第1号訪問事業	<p>○令和6年3月末現在（15人）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要支援1 6人</li> <li>・要支援2 7人</li> <li>・事業対象 2人</li> </ul>
	23. 第1号通所事業	<p>○令和6年3月末現在 25人</p>
	24. 地域生活支援事業	<p>○令和6年3月末現在 0人</p>
6. 介護用品販売事業	32. 介護用品販売事業	

拠点区分	サービス区分	事業名
1. 法人運営事業	1. 法人運営事業	
	2. 支所法人運営事業	○支所の運営事務 ○全戸会員制会費の推進 ○車輛の維持・管理
	3. まごころ銀行運営事業	○預託件数 3件 ○預託金額 586,678円 ○活用事業(200,000円) ・高齢者生活支援事業 200,000円
2. 地域福祉活動事業	4. 調査・企画・広報事業	○支所だよりの発行(年3回) ○フェイスブックの運営 投稿7回 ○地域づくり組織及び地域づくり活動センターとの連携・情報共有 ・地域づくり活動センター訪問等 50回
	5. 地区社協育成事業	
	6. 高齢者生活支援事業	○ふれあいいきいきサロン事業(13サロン) ・高齢者サロン 13箇所 ・子育てサロン 0箇所 ・障害者サロン 0箇所 ・休止 1箇所 ・解散 1箇所 ○サロン交流研修会の開催 日時:令和6年2月8日(木)13:30~ 場所:西予市役所三瓶支所2階 対象:三瓶町内のサロン関係者 参加者:22人 ○安心カードみまもり支援事業 「安心キット」利用実績(令和6年3月末現在) ・利用世帯数 282世帯 ・利用者数 336人 (内訳) □独居世帯(75歳以上) ・利用世帯数 205世帯 ・利用者数 205人 □高齢者世帯(75歳以上) ・利用世帯数 48世帯 ・利用者数 95人

拠点区分	サービス区分	事業名
		<input type="checkbox"/> 身体障害者等手帳所持者 ・利用世帯数 8 世帯 ・利用者数 8 人 <input type="checkbox"/> その他（必要と思われる方） ・利用世帯数 21 世帯 ・利用者数 28 人
	7. 家族介護支援事業	○車いす貸与（短期間） 10 件
	8. 給食サービス事業	○独居世帯給食サービス（80 歳以上） 年 3 回 延べ 723 食 ○高齢者世帯給食サービス（80 歳以上） 年 3 回 延べ 609 食 ○独居世帯ヤクルト配布（80 歳以上） 年 2 回 延べ 484 食 ○高齢者世帯ヤクルト（80 歳以上） 年 2 回 延べ 403 食
	9. ボランティア活動 推進事業	○ボランティア登録数 ①個人 1 人 ②団体 6 団体 団体所属人数 104 人 ③ボランティア活動保険加入者 95 人 ④その他団体 1 団体 その他団体所属人数 26 人 ○ふれあい暑中見舞い 協力：三瓶中学校生徒 111 人 対象：独居高齢者 260 人 ○福祉関係備品貸出 0 件
	10. 生活支援体制整備 事業	○協議体の設置・運営（第 2 層） 日 時：令和 5 年 8 月 3 日（木）14：00～ 場 所：西予市役所三瓶支所 2 階 参加者：9 人 ○介護予防サポーターステップアップ研修会 日 時：令和 5 年 10 月 27 日（金）13：30～ 場 所：西予市役所三瓶支所 2 階 対 象：介護予防サポーター養成講座終了者 参加者：6 人 ○地域の集いの場づくりの推進及び活動活性化の支援 ・集いの場への訪問 20 回

拠点区分	サービス区分	事業名
		○関係機関・団体等との連携 13回 学校・民生委員さんとの話し合いやNPO法人立ち上げの会議等に参加 ○新しい生活様式での地域の支え合い活動の推進
	1 1. 福祉等総合相談事業	○法律相談所 年6回 相談件数 23件 ○心配ごと相談所 年12回 相談件数 5件
	1 2. 福祉サービス利用援助事業	
	1 3. 法人後見事業	
	1 4. 生活福祉資金貸付事業	○貸付件数 0件 ○相談件数 4件
	1 5. 小口資金貸付事業	
3. 共同募金配分事業	1 6. 一般募金配分事業	○点字教室 日 時：令和5年11月10日（金）14：00～ 場 所：三瓶小学校4年生教室 対 象：三瓶小学校4年生34人 ○手話教室 日 時：令和5年11月2日（木）14：00～ 場 所：三瓶小学校4年生教室 対 象：三瓶小学校4年生34人 ○広報啓発活動 ・三瓶小学校において、壁新聞による周知・啓発
	1 7. 歳末たすけあい配分事業	○在宅対象者配分 47世帯 103人 ○独居・高齢世帯お餅配布 346世帯 ○特産品配布 1施設
4. 居宅介護等事業	1 8. 居宅介護支援事業	
	1 9. 訪問介護事業	
	2 0. 訪問入浴介護事業	
	2 1. 障がい福祉サービス事業	
	2 2. 第1号訪問事業	
	2 3. 第1号通所事業	
	2 4. 地域生活支援事業	
6. 介護用品販売事業	3 2. 介護用品販売事業	

# 令和5年度 西予市地域包括支援センター 事業報告

## I 西予市による西予市地域包括支援センター運営指針（抜粋）

### 1 地域包括ケアシステムの構築方針

西予市型共生社会の実現を目指した、地域包括ケアシステムの構築を推進する。センターの設置責任者である市とセンターは協力し合い、「家族のきずなと地域のぬくもりを大切にすまちな西予」（第7期を継承した第8期高齢者福祉計画介護保険事業計画将来像）を目指し“地域づくり”と“人づくり”により、介護・医療・福祉だけでなく地域も連携してともに支え助け合う地域包括ケアシステムの構築に向けて、関係機関と連携しながら、切れ目ない支援体制の確立に取り組む。

また、高齢者・障がい者・子どもなど支援が必要な市民全てを対象とした、地域そのものを支援する福祉体制を展開し、西予市型共生社会の実現を目指す。

さらに、高齢者の自立支援・介護状態の重度化防止に向けた取組及び介護給付適正化を一体的にとらえた施策の促進のための重点プログラム（第7期から継承）の推進に向けて市と協働して取り組む。

### 2 市とセンターの連携方針

市は、地域包括支援センター運営協議会を設置し、センターの公正・中立性の確保その他センターの円滑かつ適正な運営を図る。また、連絡会議を定期的を開催するとともに、情報交換及び課題共有等を行い、センター機能強化を図る。

## II 基本方針

高齢者が住み慣れた地域で、継続して尊厳あるその人らしい生活を送れるように支援することを目標とする。そのために、地域の保健・医療・福祉サービスや各種社会資源等の地域包括ネットワークを構築し、できる限り要介護状態にならないように、包括的・継続的に支援する。

## III 長期目標

地域包括ケアシステムの推進強化に向けて保健・医療・福祉・介護の連携と住民活動等インフォーマルな活動や地域資源を活用したネットワークの推進に努め、共生社会の実現を目指す。

## IV 短期目標

- 感染症対策を含めたセルフケアの充実と重度化予防支援により、元気な高齢者づくりを推進する
- ICTを融合し、新たな支援体制の具体化を図る
- 地域づくりを意識した地域包括ケアシステムを構成する多職種連携の基盤強化



## V 事業実施状況

### 1) 包括的支援事業

#### (1) 総合相談支援事業（法第115条の45第2項第1号）

《目的》高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、地域における関係者とのネットワークを構築する。

高齢者の心身の状況や生活の実態、必要な支援等を幅広く把握し、相談を受け、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、関係機関又は制度の利用につなげる等の支援を行う。

#### 《実施内容》

##### ① 地域での高齢者状況の実態把握

早期対応に必要な高齢者を把握するために、民生児童委員より情報提供を受け、その情報をもとに該当者を取り巻く関係機関から情報収集を行い、訪問等で迅速に対応し、民生児童委員と情報共有を図った。

○各地区民生児童委員定例会や支部会等へ出席

○民生児童委員との連絡票を周知

地域で把握されにくい事例を連携しながら情報収集し早期対応を実施

##### ② サロン等集いの場において健康相談対応と健康教室開催

○サロンでの健康相談・講和等：15か所 218人

○社協事業その他の健康相談：9回 100人

地区	サロンでの健康相談・講話等	他機関の事業との共催	テーマ等備考
宇和	4か所 80人	なし	フレイル・認知症予防について
明浜	1か所 16人	なし	認知症予防について
野村	9か所 112人	○社協主催 ・見守りネットワークづくり研修会8か所 80人 ・サロンリーダー交流会 20人	認知症、フレイル予防、熱中症予防、感染症予防、包括についての講座 せいよ体操
城川	1か所 9人	なし	認知症と終活について
三瓶	0か所	なし	※地域生活課保健師等が主になって事業展開している（情報共有済）

##### ○高齢者の集いの後方支援

野村地区 ・ハツラツ会 毎月2回（第2・4火曜日）開催支援

（但し8月は熱中症防止に配慮し中止）

・脳卒中家族の会「てるてる会」：定期開催は中止

不定期で食事会を開催・参加

③ 初期段階での相談対応及び継続的・専門的な相談支援

警察署、消防署、行政機関、見守りネットワーク推進員、区長、介護予防サポーター、地区住民等からの情報や本人及び家族、または医療機関の地域医療連携室、調剤薬局、居宅支援事業所の介護支援専門員や福祉事業関係者からの相談や面談及び戸別訪問等の実施

○電話や来所により相談を受け付け「連絡票」のツールを使い、情報共有を行っている。

ア 個別の相談件数（延件数）

相談内容	件数
介護保険その他の保健福祉サービスに関すること	842 (件)

地区別	件数
明 浜	70 (件)
宇 和	320 (件)
野 村	257 (件)
城 川	64 (件)
三 瓶	118 (件)
その他	13 (件)
合計	842 (件)

イ 夜間・休日の電話対応件数（再掲ではない）

	件数
本 所	86 (件)
支 所	86 (件)
合 計	172 (件)

ウ 介護・福祉・認知症出張相談所開設による相談件数:実績 4 件

地区	件数	開催
明 浜	0	8回/年
宇 和	2	毎月
野 村	1	毎月
三 瓶	1	奇数月
合 計	4	(件)

③ 地域における多様な社会資源（ネットワーク）と連携した支援の実施

○地域住民へ地域包括支援センター及び介護予防事業の啓発・PR

・民生児童委員協議会・サロン・介護予防サポーター養成講座・見守りネットワーク研修会等に参加し各種事業についての情報提供を行った。

- ・医療機関・調剤薬局を訪問し相談機関であることを周知した。
- ・包括新聞（夏号・冬号）を発行し、サロン、給食サービス利用者、民生児童委員、相談利用者等に配布した。
- ・社協だより（野村6月・城川6月・宇和6月、）おあしす（5月）、広報せいよ、HPで事業紹介した。
- ・相談窓口であることを周知するためステッカーを作成。公的機関（市役所・警察署等）医療機関、調剤薬局、企業、店舗、公共施設等のトイレや窓口に設置している。

④ 権利擁護事業とリンクした地域ケア会議の実施

○相談事例により権利擁護事業にて事例検討会を実施している。

(2) 権利擁護事業（法第115条の45第2項第2号）

《目的》地域の住民、民生委員、介護支援専門員等の支援だけでは十分に問題解決できない、適切なサービス等につながる方法が見つからない等の困難な状況にある高齢者が、地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活を行うことができるよう、権利侵害の予防や対応、権利行使の支援を専門的・継続的な視点で行う。

《実施内容》

① 高齢者虐待防止に関する広報及び相談支援

ア 虐待防止及び早期発見早期対応のためのネットワークの構築  
チラシやリーフレット等を活用し、高齢者虐待対応の窓口及び相談支援機関であることや高齢者虐待防止に関する広報・啓発を実施している。

イ 民生児童委員の定例会等で、相談窓口であることを周知した。

ウ 本人の状態（心身・経済など）、家庭環境などにより関連機関や多職種連携での対応が必要な事例について、各専門機関と情報を共有した個別支援を実施。

② 困難事例への対応（セルフネグレクトの防止及び対応）、成年後見制度の啓発と活用支援の強化

ア 虐待事例について行政と連携協働し、他機関と連携を図り対応実施

虐待対応件数 (延べ件数)	21 (件)
相談経路は、担当の介護支援専門員や介護保険サービス事業所が一番多く、次いで医療機関からであった。措置支援の該当者：3件	

イ 相談のあった事例に対する必要に応じた関係機関との連携による支援

成年後見制度利用支援含む権利擁護相談 件数	38 (件)
成年後見制度市長申し立て要請件数	4 (件)

ウ 成年後見制度普及啓発

社協便り・研修会にてパンフレット配布

③ 消費者被害の防止

- ア 詐欺防止対策の周知を広報誌等で行った。
- イ 消費生活センターと連携を強化し、情報共有を行っている。

対応件数 (延べ件数)	2 (件)
-------------	-------

- ④ 老人福祉施設等への措置の支援については行政と協同している。
- ⑤ 社会的弱者の支援体制の構築と事業関係者のスキルアップを目的とした地域ケア会議の実施

ア 多職種による個別地域ケア会議を開催し情報共有・各機関との支援体制の構築に努めた。

イ 身寄りのない人の支援シートを活用し、福祉課・長寿介護課等関係機関との連携強化とスムーズな連携体制を構築できた。

ウ 法テラス弁護士による講座や困難事例に対する事例検討会やホットライン使用及びケース会議支援制度の活用により助言を得た。多重債務者の金銭管理や債務整理等を法テラスホットラインで相談するなど利用件数は増加傾向にある。

エ 権利擁護関係者勉強会（事例検討会）をオンライン及び集合で定期的に行っている。

・参加者：法テラス弁護士、行政・医療・保健・福祉・介護の関係者延べ数40人

開催月	テーマ（地域課題含む）	備考
5月	① 同居の息子夫婦による経済的虐待疑い事案への介入・支援	支援困難事例における連携についての指導助言を得る機会や関係機関協同の情報提供の場となっている。
8月	① 認知症で相続手続きができない方への成年後見制度利用の支援 ② 被保佐人の、家族の成年後見申立の可否 ③ 障害のある男性への多重債務についての支援 ④ 医療機関受診の説得に応じない引きこもり女性への支援	
11月	① 被保佐人を解除された男性の契約トラブル	
2月	① 全く無関係な内容のFAXが繰り返し自宅に届くことへの対応 ② 個人病院に対する送り付け商法への対応 ③ 一時的に体調を崩している生活困窮者への出張相談 ④ 50代の引きこもりの方への対応	

☞ 参加者へアンケート調査を実施し、支援体制のスムーズな構築や支援者の質の向上に効果的であるとの評価があった。

#### オ 権利擁護研修会の開催（2回）

○開催日：令和5年8月10日

講演：『終活を学ぶ～ためになる「エンディングノート」の活用～』

講師：竹中誠実氏（一般社団法人終活サポート協会 代表理事）

・地域住民や関係機関の40名が参加。

○開催日：令和5年11月22日

講演：『高齢者虐待について～セルフネグレクトへの支援と方法』

講師：大西亮輔氏（社会福祉士 グループホームちとせ管理者）

・介護事業所等専門職57名が参加。

研修後、ケアマネジャーからの虐待に対する認識の変化により、相談が増加。

カ 福祉施設等への講話を実施

講話『介護予防と権利擁護～毎日を健康に過ごす為に～』

講師：保健師・社会福祉士

対象者：溪筋地区見守りネットワーク 25 人

講話『元気で過ごそう～終活と介護予防～』

講師：主任介護支援専門員・社会福祉士

対象者：城川地区サロンリーダー20 人

講話『成年後見制度と高齢者虐待について』

講師：社会福祉士

対象者：三瓶地区民生児童委員 20 人

講話『在宅における虐待について ～事例を交えて～』

講師：社会福祉士

対象者：愛媛県訪問看護協議会 県内 25 事業所

キ エンディングノート（包括版）を作成し、周知や配布を行った。

配布部数：216 部（R4 より 40%増）

### （3）包括的・継続的ケアマネジメント支援事業（法第115条の45第2項第3号）

《目的》高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護支援専門員、主治医、地域の関係機関等、多職種相互の協働による連携強化や体制づくりを行う。また、一人ひとりの高齢者の状況や変化に応じたケアマネジメントが重要であるため、自立した生活を目的とした包括的かつ継続的な支援ができるよう、個々の介護支援専門員に対する支援等を行う。

#### 《実施内容》

##### ① 包括的・継続的なケア体制の構築（多職種連携体制の推進）

###### ア ICTクラウドシステム「kintone」事業の推進

事業概要：地域包括ケアシステム構築に向けてクラウドを活用し、多職種連携、顔の見える関係づくりを行うことができるシステム運用を目指す。ユーザー間での意見交換や各機関からの情報提供がリアルタイムに、スピーディーに行える。

###### イ ユーザー数：290 ユーザー（令和6年3月末現在）※図①添付

・クラウドシステム運営委員会を2回開催し、中間評価、最終評価アンケートを基に運営改善に向けた協議を行った。また、ユーザーの利用意識が広がるようスペース、スレッド、アプリの利用申請書について検討した。

- ・ユーザーのリテラシー向上やモラルの向上のために、『個人情報保護法について』の研修会を実施した。

日時：①令和5年5月1日 ②令和5年11月6日

場所・方法：西予市教育保健センター4階（会場とオンラインによるハイブリッド形式にて実施）

講師：弁護士事務所たいよう所属弁護士 池本 真彦 氏

- ウ 【事業評価】 コロナ禍の現状において、キントーンの活用が増え、情報共有やオンライン（zoom）研修のネットワーク構築に大きく貢献していると評価できた。

- ・高知県幡多郡黒潮町の行政職員及び福祉関係者が15人来所。kintoneを活用した取り組みについて経緯や現状、メリットやデメリットなどについて説明を行い、質疑応答。また、個人情報保護に関する取り組みや西予市で行っている事業への活用などについて説明。

- エ 民生児童委員協議会定例会等への参加と早期介入者への情報共有を行った。

- ・民生児童委員協議会と市内介護支援専門員等の交流会の開催

8月～11月延べ回数 10回

参加者数 325人

（民生児童委員協議会 152人・介護支援専門員 173人）

② 介護支援専門員の質向上とネットワークの構築・活用

- ア 西予市主任介護支援専門員連絡会の開催（研修及び情報伝達を目的とし、第2層の地域ケア個別会議に位置付けている）：開催回数：6回

令和5年度のテーマ（目的）

- ・事例検討会の充実
- ・主任介護支援専門員のキャリアアップと後進の人材育成
- ・多職種連携とネットワークの構築を深める

日時	目標・内容等
5月12日	○主任介護支援専門員の立場や役割の再認識を行う ○事例検討における地域課題の共通認識について ○民生児童委員交流会の計画
7月14日	○主任介護支援専門員のキャリアアップ後進の人材育成 【講演】演題「助言・指導力を身に付ける」 講師：愛媛県介護支援専門員協会 会長 矢川ひとみ 氏
9月8日	○事例検討会（昨年度研修からの習得方法） ○屋外活動の計画（11月開催の地域活動）
11月10日	○屋外活動 介護離職防止を目的として企業を訪問し、介護福祉等の相談窓口の周知や介護支援専門員についての説明等を行った。
1月12日	○事例検討会

	○屋外活動（企業訪問）の振り返り
3月8日	○事例検討会 ○令和5年度の振り返りと来年度の計画について

イ 西予市介護支援専門員連絡会の開催：開催回数：6回  
令和5年度のテーマ

- ・ケアマネジメント力の向上ができる
- ・災害別BCP編成と防災・減災支援についての理解ができる
- ・民生児童委員との連携（シームレスな連携構築）

日時	目標・内容等
4月14日	○地域ケア個別会議について情報共有 ○ICT キントーン・個人情報の取扱いについての説明 ○グループワーク（テーマ：ケアマネジメントで悩んでいること）
6月19日	○令和4年度ケアプラン点検の評価報告・説明（長寿介護課） ○特別研修会『ケアマネジメント力の向上』 講師：愛媛県介護支援専門員協会会長 矢川 ひとみ 氏
8月7日	○特別研修会 講義「災害時におけるケアマネジメント支援とBCPについて学ぶ」 講師：四国中央市居宅介護支援事業所四つ葉 主任介護支援専門員石川香織氏
10月	○民生児童委員協議会との交流会（各旧町の定例会に合わせて開催、野村地区は6支部で開催：8月～11月）
12月11日	○民生児童委員協議会との交流会のアンケート結果報告と振り返り ○グループワーク（災害時アセスメントシートについて、BCPにおける平時の準備や進捗状況について）
2月14日	○ゲートキーパー研修（健康づくり推進課主催）講師：幸田裕司 氏 ○情報共有

③ 主任介護支援専門員による介護支援専門員への日常的個別指導・相談  
ア 個別指導・個別支援及び支援困難事例等への指導・助言

委託サービス担当者会議への出席	166（回）
委託プラン・評価の確認	350（件）
制度等についての助言・指導	58（件）
支援困難事例等への助言・協同	9（件）

イ 長寿介護課と協同で、給付適正化事業としてケアプラン作成指導を通し、介護支援専門員への後方支援及びケアマネジメント指導

居宅介護支援事業所	13 か所 (事例数) 52 件 (介護支援専門員数) 43 人
-----------	--

ウ 関係機関との連携づくり

- ・市内企業や商工会、地域づくり活動センター、調剤薬局・医療機関への連携強化を意識した活動展開とした。
- ・介護保険事業所連絡会 月1回(宇和・野村)  
サービス利用実績交換会を兼ね、情報共有、情報交換の場となった。
- ・居宅支援事業所における事例検討会(他法人事例検討会含む)参加(2回)  
オ 関係機関への医療・保健・介護・障害等福祉分野の情報を集約した「高齢者サービスガイドブック」の作成

○方法：ICT キントーンにて全ユーザー(290人)へ情報提供

内容は2部構成とし、1部「地域包括ケアシステム編」450冊、2部「介護保険等サービス事業所編」70冊を製本した。

○配布先：西予市医師会員・西予市民生児童委員・その他関係機関

④ 個別地域ケア会議の開催と情報整理課題抽出

ア 自立支援を目的とした地域ケア個別会議の開催

開催日時：毎月第3木曜日 15:00~17:00

事例対象者：自立支援を目的とした総合事業対象者及び要支援1・2の認定者、要介護1・2の認定者

事例提供者：市内居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターに所属する介護支援専門員等

助言者：薬剤師・保健師・栄養士・歯科衛生士・看護師・リハビリテーション(POS)職(作業療法士、理学療法士)・生活支援コーディネーター等

実施件数：23例

開催目的：高齢者のQOLの向上を目指し、参加者が自立に資するケアマネジメントの視点やサービス等の提供に関する知識・技術を習得。事例を積み重ねる事により、個別支援から見えてきた地域課題等を抽出整理。抽出された課題は第8期高齢者福祉計画に記載の地域ケア会議の体系に沿って上層の会議へ提言する。

イ 情報整理課題抽出(一部のみ抜粋)

①認知症対策に関する課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○認知症の早期発見と認知症の種類の見極めの必要性</li> <li>○認知症の方の意思決定の支援体制の整備</li> <li>○認知症本人への告知の方法と家族の理解や介護力の問題</li> <li>○認知症初期集中支援チーム『チームおれんじ』と多機関の連携共同の強化</li> <li>○『SOS 徘徊登録制度と見守りQRコード』の周知の徹底</li> </ul>
---------------	---



	<ul style="list-style-type: none"> <li>○認知症の発症リスクである脳疾患罹患・独居（閉じこもり傾向）・飲酒・生活習慣病に関する認知症予防対策</li> </ul>
②在宅医療・介護連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○難病に関する研修会（保健所主催）の関係者の参加勧奨</li> <li>○難病受給者証の更新に関する制度の周知</li> <li>○家族対象とする『服薬管理・各疾患への理解』の強化対策</li> <li>○精神疾患において認知症疾患医療センターとの連携</li> <li>○歯科医・歯科衛生士との連携による口腔ケア（義歯の保清等）の周知</li> <li>○うつ病の受診機関とセカンドオピニオンの問題</li> <li>○連続歩行のための筋力アップメニューの提示</li> <li>○支援者の共通ツール『痛みのスケール』活用と評価の必要性</li> <li>○かかりつけ薬剤師制度の活用周知</li> <li>○糖尿病の重度化予防（眼科受診勧奨、皮膚トラブル対策）</li> <li>○コロナ感染症後遺症の方の支援体制</li> <li>○理学療法士等による運動機能評価のシステム化</li> <li>○糖尿病や低ナトリウム血症等、疾患に効果的な栄養指導</li> <li>○水分・塩分制限が必要な場合のアセスメントと専門職の関与</li> </ul>
③生活支援体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活支援バス、デマントタクシーなどの交通網の整理と目的別の移動の支援</li> <li>○移動販売車の商品の充実と販売場所などの調整、西予市民向けの買物ツアーの取り組み</li> <li>○住民主体の認知症カフェを広め、安全に集まる場所作り</li> <li>○免許返納後の移動手段がなくなったことへの代替手段</li> <li>○男性の集いの場所作り</li> <li>○障害のある人との地域づくりへの取り組み</li> <li>○Iターン・Uターン者の仲間づくり</li> <li>○山間部の見守りの整備の必要性（かかわる人のエコマップ）</li> <li>○ミールトレイン（毎日食事を届けてくれるシステム）（孤食のサポート）（治療食の配達）</li> <li>○『ものづくり』や出店、販売できるような取り組み、</li> <li>○巡回カフェ、巡回図書館、スマホの利用教室などの楽しみのサービス、趣味活動などのクラブ作り</li> <li>○交流の場まで移動できない現状があることから、交流拠点の範囲縮小（個人の家サロン化）</li> </ul>
④一般介護予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>○壮年期からのかかりつけ医受診推奨、特定健診の推奨</li> <li>○介護予防サポーター養成講座の研修項目にタイプ別認知症の理解を追加</li> <li>○肥満の解消（食べたものの記録で栄養管理）対策</li> <li>○BMI 高値の人の膝痛対策</li> </ul>
OJT（事例提供者への	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域のインフォーマルサービスの情報を意識したケアマネジメントの実践</li> <li>○疾患別予防対策について専門分野へ相談</li> </ul>



- ア 認知症初期集中支援チームの配置
- イ 訪問支援対象者の把握
- ウ 情報収集及び観察・評価
- エ 初回訪問の支援
- オ 初期集中支援の実施
- カ 支援実施中の情報の共有

○認知症初期集中支援チーム員の体制：認知症サポート医（西予市医師会の協力により医師 8 人）と地域包括支援センター本所（看護師・社会福祉士各 1 人）・支所（看護師・社会福祉士各 1 人）で構成

○認知症初期集中支援チーム（おれんじ支援チーム）の周知

訪問にて周知：市内医療機関・調剤薬局・居宅介護支援事業所 65 か所を訪問  
 キントーンにて周知：介護・福祉関係事業所・行政・警察・消防等

○認知症相談実績

認知症相談件数	160（件）※総合相談件数の19.0%を占める
---------	-------------------------

○サービス未利用者のアウトリーチ

認知症予防と早期発見対策の強化のため、要支援認定者のうち介護サービス未利用、訪問調査・意見書のいずれかもしくは両方が認知症高齢者の日常生活Ⅱa以上、かつ独居・高齢者世帯を対象に訪問等実施し、必要に応じて介入もしくは支援チームの周知を行った。

	対象	把握
本所	11（人）	11（人）
支所	37（人）	37（人）

○おれんじ支援チーム活動実績

チーム員会議	10（件）
サポート医の訪問診療	0（件）

○認知症対策検討会（年 2 回開催）にて、支援チーム員の活動を報告した。

○おれんじ支援チーム作業部会を毎月開催し、チームの活動や個別事案から抽出された課題を共有し事業展開について検討した。

○認知症初期集中支援チーム員研修：1 人 9 月 9 日（オンライン）

## ② 認知症地域支援・ケア向上事業

《目的》医療機関や介護サービス及び地域の支援機関の間の連携を図るための支援や認知症の人やその家族を推進する支援業務を行う認知症地域支援推進員を配置し、当該推進員を中心として、医療・介護等の連携強化等による、地域における支援体制の構築と認知症ケアの向上を図る。

ア 認知症地域支援推進員の配置と推進員とチーム員の連携

認知症地域支援推進員（包括内）	4（人）
-----------------	------

イ 認知症総合支援事業作業部会の参加：6月・8月（臨時）・9月・2月

ウ 認知症当事者と介護者の支援体制づくり

・認知症カフェ（花草家）の開催の実施

介護者や当事者同士がお茶を飲みながら相談や雑談し、認知症等に関する情報提供ができる認知症カフェを介護予防サポーターと協同し開催した。介護予防サポーターと包括職員1名体制で実施。介護予防サポーターの協力により一定の利用者数を保つことができている。

参加人数（延べ）	218（人）
----------	--------

・花草家定例会の実施：6月・9月・11月（市外研修）・3月

内容：介護予防サポーターと運営面の課題解決を図った。

・介護・福祉・認知症相談日を設定し対応。

・地域密着型認知症グループホーム運営推進会議への出席（GH9か所）

・市主催の認知症家族教室に参加（宇和・野村）

エ 認知症に対する知識普及及び開催

・認知症サポーター養成講座

株式会社フジ宇和店職員：8月23日（7人） 2月21日（9人）

明浜中学校3年生・教員：5月17日（6人）

中川小学校4年生：2月27日（22人）

健康体操クラブ（田之浜）：7月10日（12人）

・認知症の講話

大西サロン（野村）：9月7日（32人）

中津川サロン（城川）：2月21日（9人）

・認知症（アルツハイマー）月間イベントの周知・開催協力：9月13日

オ 権利擁護業務、総合相談支援業務とリンクした地域ケア会議の開催

(5) 在宅医療・介護連携推進事業（法第115条の45第2項第4号）

《目的》医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、本人が望む場所で自分らしく安心して生活できるよう、医療・介護の関係機関が連携して、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築を目指す。

## 《実施内容》

### ① 地域の医療・介護の資源の把握・整理、在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

#### ア 医療介護連携会議年2回（9月、3月）実施（構成委員16人）

内容：第1回では、市外の医療機関から情報提供を得られない問題について八幡浜保健所にも提起。県レベルでルール共有運用を期待。八幡浜保健所が圏域内の関係機関に退院支援ルールに関するアンケート実施、西予市ではおおむねルールに沿って連携できている。「急変時の対応」に関して具体的な取組が行われておらず、課題整理や取り組み内容について協議した。その後、12月に地域ケア会議として、警察・消防・長寿・包括連携会議を開催し、救急搬送について、看取りの方の救急車要請について協議した。今後も定期的に会議を開催する予定。

第2回では、目標や取組、課題などを報告。方向性の修正を求める意見はなかった。次年度も4つの場面ごとの目標に向けて、対応策を検討し、取組んでいく。

#### イ 有床医療機関との連携会議（5回/年予定）当会議内にて入退院支援の場面に関する事例検討会を年4回（5月、7月、10月、12月うち4回とも事例検討会）実施。（構成委員12人）

内容・評価：連携室職員と問題提起検討するための関係性構築はできたと評価し、今年度で有床医療機関連携室・包括連携会議は終了とする。

#### ウ 「看取り」のカタチをつくる会を年5回（4月、5月、7月、9月、1月）実施。（構成委員13人）

内容：住民への普及啓発のための市民公開講座の企画運営。

がん拠点病院との連携やコーディネーター機能について、在宅緩和ケアを推進することの可否を協議した。今後も市民公開講座の企画運営、看取りや在宅緩和ケア推進のために必要なマニュアル等の作成を行なう。

#### エ 緩和ケアコーディネーター・サポーターの会を年4回（5月、9月、11月「外部講師による講話開催」、1月）実施。（構成員12人）

内容：在宅緩和ケアの推進の必要性、緩和ケアコーディネーターの役割について発信はできたと評価し、今年度で緩和ケアコーディネーター・サポーターの会は終了とする。

### ②在宅医療・介護連携支援センターとして相談窓口を設置、医療・介護関係者との協働・連携を深めるため情報共有や研修などの後方支援を行なう

#### ア 相談窓口としての実働

○医療機関、薬局、CMへ周知するために、4月に関係機関訪問し、説明（医療機関28、薬局20、居宅14）。今後も継続。

○医療機関等からの相談件数集計する

表1 医療介護連携に関する相談件数（※相談受付表にて、医療機関からは必ず1を）

	(件)
本所対応	85
支所対応	105
合計	190

☞相談件数は、平均16件/月。相談先は、医療機関、本人・家族の順に多い。

イ 関係者対象研修会(外部講師招聘)

オンラインミニ講座年4回(4月、7月、10月、11月)実施。

○アンケート結果「医療介護連携の現状や課題の報告」:34人参加。

○薬剤師を講師に「在宅における服薬管理～高血圧症、心不全～」:44人参加。

○循環器内科医師を講師に「心不全について」:58人参加。

○がん看護専門看護師を講師に「がん患者対応について」:60人参加。

☞内容に関して理解度、満足度(役に立ったか)ともに高かった。

③在宅療養を必要とする住民が適切なサービスを選択できるように普及啓発

ア CM、地域連携室職員対象に各アンケート実施(回収率100%)と報告

○12月にアンケート実施。対象者61人全員回答。3月に医療介護連携会議、次年度4月に介護支援専門員連絡会、またキントーンにて結果報告。

イ 住民対象ACPに関する市民公開講座開催:150人参加。

○人生の最終段階において自身の希望を事前に話し合っておくことの必要性や西予市での看取りの場所の選択肢について住民へ普及啓発するため、8月に市民公開講座「看取りのカタチ～人生の最期をみんなで考えませんか～」開催。パンフレット「やすらかな看取りのために」作成、展示配布。

アンケートにて好意的な感想多数あった。

次年度も同テーマで野村・城川地区にて開催予定している。

④他事業

ア 西予市在宅緩和ケア推進モデル事業

○事務局として、事業の推進等を運営委員会等で模索した。

○西予市在宅緩和ケア推進モデル事業の運営委員は22人

(運営委員会委員長:西予市医師会会長、副委員長は訪問看護ステーション東宇和所長)

○包括保健師:コーディネーターとして兼務(西予市コーディネーターは5人)

○関係者へアンケート調査実施(n=61)

○事例検討会(年6回開催/オンライン)

イ 実習受け入れ対応

- 7月 19日 愛媛大学医学部医学科学生 5人
- 8月 28日～9月 1日 愛媛大学医学部医学科学生 14人
- 11月 8日 訪問看護師養成基礎講習会実習 2人
- 2月 2日 介護支援専門員実習 1人

## 2) 介護予防・日常生活支援総合事業

- ・自立支援のためのケアマネジメントの実践とサービスの適正な利用の推進を行う。
- ・本人の社会参加を視野に入れ、インフォーマルなサービスや地域の互助力による支援体制を組み込んだケアプランの作成
- ・包括的継続的ケアマネジメント業務とリンクし、社会資源の発見と地域課題の抽出を目的とした地域ケア会議の開催。

### (1) 第1号介護予防支援事業(法第115条の45第1項第1号二)

《目的》基本チェックリスト該当者に対して、介護予防及び日常生活支援を目的として その心身の状況、置かれている環境そのほかの状況に応じて、その選択に基づき、訪問型サービス（第1号訪問事業）、通所型サービス（第1号通所事業）、その他生活支援サービス（第1号生活支援事業）等適切なサービスが包括的かつ効果的に提供されるよう援助を行う。

#### ① 事業対象者のケアマネジメント

- ・基準緩和Aデイサービス利用者・・・実施件数：1,151件  
(基準緩和デイサービス利用者のプラン作成は99%包括が担当している)
- ・事業対象者（第1号介護予防支援対象者）・・・実施件数：2,317件
- ・基準緩和Aと第1号介護予防支援対象者の合計・・・実施件数：3,468件
- ・総数のうち、包括担当の実施件数：2,619件（75.5%）
- ・総数のうち、委託事業所担当の実施件数：849件（24.5%）

総数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護 予防 ケア マネ ジメ ント 支 援	総数 (件)	313	303	302	308	294	288	289	278	274	274	275	270	3,468
	包括担 当件数	239	225	227	232	221	216	217	214	206	210	210	202	2,619
	委託担 当件数	74	78	75	76	73	72	72	64	68	64	65	68	849

### (2) 指定介護予防支援事業（法第115条22）

《目的》介護保険における予防給付の対象となる要支援者が、介護予防サービス等の適切な利用等を行うことができるよう、その心身の状況、その置かれている環境等を勘案し、介護予防サービス計画を作成するとともに、当該介護予防サービス計画に基づく指定介護予防サービス等の提供が確保されるよう、介護予防サービス事業者等の関係機関との連絡調整を行う。

業務の実施に当たっては、指定介護予防支援基準を遵守する。

① 要支援1・2の方へのケアマネジメント

- ・実施件数 4,925件総数のうち、包括担当の実施件数：2,941件（59.7%）
- ・総数のうち、委託事業所担当の実施件数：1,984件（40.3%）

総数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
指定 介護 予防 支援	総数 (件)	409	417	411	409	407	419	407	408	414	419	405	400	4,925
	包括担 当件数	248	252	249	246	244	252	244	237	242	245	239	243	2,941
	委託担 当件数	161	165	162	163	163	167	163	171	172	174	166	157	1,984

② 要介護認定者で福祉用具購入あるいは住宅改修を希望する人に対しケアマネジメントの実施（ケアプラン作成無し）

- ・福祉用具購入 22件（前年比増減なし）
- ・住宅改修 22件（前年比61%減）

3) 介護予防の推進

（目的）高齢者ができるだけ要介護状態とならないための予防や、要支援状態の軽減、悪化防止の介護予防事業を積極的に取り組む。

（実施内容）

① 生活支援サービスの基盤整備事業

生活支援コーディネーターと共に医療・介護のサービス提供のみならず、地域住民、ボランティア、地区組織、シルバー人材センター、老人クラブ、商工会、民生児童委員等の生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を図った。

ア 「生活支援体制整備事業・一般介護予防事業作業部会」

- ・地域ケア推進会議（第1層）のカテゴリーの一つとして市主催で開催、共生社会を意識した地域づくりの課題を検討している。

- ・第1層協議体への参加

イ サービスの担い手など資源開発介護予防サポーター養成・活動支援（市・社協と協働）として、連絡会へ参加し、認知症カフェの立ち上げについて講話

② 元気な高齢者づくり事業

- ・保健事業との一体的な取り組み

KDB データベースに健康不明者の訪問活動及び一般質問票から認知機能低下者を把握し訪問調査を実施した。

ポピュレーションアプローチとして、集いの場や基準緩和デイ利用者に対し、フレイル予防の講話を行った。また、個別に健康調査と予防対策を実施した。



